

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教 科： 国語 科 目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： （「高等学校 現代の国語」第一学習社）

教科 国語 の目標：

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
前期	A 目的や相手に応じた言葉遣いや言葉の使い分けについて理解させる。 【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉、敬語表現の特徴を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・相手や場に応じた言葉遣いを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・より伝わりやすい表現方法について考察させる。	【指導内容】 ・話し言葉と書き言葉、敬語表現について理解させる。 ・相手や場面に応じた表現についてロールプレイを行わせる。 【教材】 「話し方の工夫」 「待遇表現」	○			【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉、敬語表現の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・相手や場に応じた言葉遣いを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・より伝わりやすい表現方法について考察しようとしている。	○	○	○	3
	B 表記・表現の基本を身につけ情報を的確に紹介する方法を理解させる。 【知識及び技能】 ・表記・表現の基本ルールを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・必要な情報を的確に説明する方法を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・効果的に書くための工夫を身につけさせる。	【指導内容】 ・表記・表現の基本ルールについて学習させる。 ・地域の魅力を紹介するための情報や資料を収集・整理し、紹介文を作成させる。 ・作成した文章を用いて、発表を行わせる。 【教材】 「書き方の基礎レッスン」 「地域の魅力を紹介する」		○		【知識及び技能】 ・表記・表現の基本的なルールを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・必要な情報を的確に説明する方法を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・効果的に書くための工夫を身につけようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
	C 説得力を意識した表現の仕方について理解させる。 【知識及び技能】 ・論理的に表現するための、主張と論拠、具体と抽象の関係を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事柄が的確に伝わるよう、表現の仕方を工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例を活用しながら、筆者の主張をまとめる力を身につけさせる。	【指導内容】 ・主張の部分と理由の部分を把握し、説得力を持たせるためにどのような工夫が必要かについて話し合わせる。 ・具体と抽象について理解し、自分の主張を相手に伝わりやすくするためのまとめ方について考察させる。 【教材】 「論理的な表現」 「論理分析 具体と抽象」	○			【知識及び技能】 ・論理的に表現するための、主張と論拠、具体と抽象の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事柄が的確に伝わるよう、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例を活用しながら、筆者の主張をまとめる力を身につけようとしている。	○	○	○	3
	D 複数の文章を読み比べ、共通点や相違点を考察する。 考察した内容を話し合い活動によって他者と共有させる。 【知識及び技能】 ・対比構造を用いた論理の展開について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理の展開を的確に捉え、要旨を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報の対比を通じて論理の展開を分析させる。	【指導内容】 ・2つの評論について、対比構造に着目し、情報を相互に関連づけながら、要旨を把握させる。 ・東西の文化を比較して述べた文章を読み、共通点や相違点について考え、自分の意見を発表させる。 【教材】 水の東西（山崎正和） 「間」の感覚（高階秀爾）			○	【知識及び技能】 ・対比構造を用いた論理の展開について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理の展開を的確に捉え、要旨を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報の対比を通じて論理の展開を分析しようとしている。	○	○	○	6

後期	E	話し合いをもとに企画・立案を行い、プレゼンテーション能力を身につけさせる。 【知識及び技能】 ・話し合いの進め方のルールを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し実践させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・表現や話し方を工夫し、効果的に伝える力を身につけさせる。	【指導内容】 ・できるだけ多くのアイデアをグループ内で共有させ、イメージマップ・ウェビングを用いて意見を分類させる。 ・理想の修学旅行案を提案するための企画書・スライド作りを行わせる。 ・資料を用いながら、プレゼンテーションを行わせる。 【教材】 「合意形成のための話し合いを行う」 「理想の修学旅行をプレゼンする」	○		【知識及び技能】 ・話し合いの進め方のルールを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・表現や話し方を工夫し、効果的に伝える力を身につけようとしている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
	A	筆者の主張を整理した上で、現代社会が抱える問題点について考察を深めさせる。 【知識及び技能】 ・科学や技術について述べた文章を読み、現代における両者の関係性について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞き手にわかりやすく説明するスピーチの方法を理解し実践させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめ、効果的に伝えようとする力を身につけさせる。	【指導内容】 ・現代の科学と技術の関係について学習し、科学が発展することのメリット・デメリットについて考えさせる。 ・今後の課題・危機について考察を深め、スピーチ原稿を作成させる。 ・原稿を用いて、スピーチを行わせる。 【教材】 「文化」としての科学（池内丁） 「スピーチで自分を伝える」	○		【知識及び技能】 ・科学や技術について述べた文章を読み、現代における両者の関係性について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞き手にわかりやすく説明するスピーチの方法を理解し、実践している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめ、効果的に伝える力を身につけようとしている。	○	○	○	7
	B	目的に合った調査の方法を理解し、報告文の作成・評価する力を養わせる。 【知識及び技能】 ・相手と目的に応じた報告文のあり方を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・報告文の書き方を理解し、実践するとともに、評価を行わせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・目的に応じてテーマを決め互いの意見を批評し合う力を身につけさせる。	【指導内容】 ・自分たちの生活実態の中からテーマを決め、グループに分かれて調査を行わせる。 ・調査結果の整理・分析、考察を行った上で、報告文を作成させる。 ・報告文を発表し合い、クラス全体で評価を行わせる。 【教材】 「自校の生徒の生活実態を調査する」	○		【知識及び技能】 ・相手と目的に応じた報告文のあり方を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・報告文の書き方を理解し、実践するとともに、的確な評価を行っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・目的に応じてテーマを決め、互いの意見を批評し合う力を身につけようとしている。	○	○	○	4
後期	定期考査						○	○		1
	C	情報の信頼性や妥当性を理解した上で、必要な情報を読み取る力を身につけさせる。 【知識及び技能】 ・情報の信頼性や妥当性の吟味の仕方や引用の目的と効用、具体的な方法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報の探索と選択、引用を適切に活用する力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・異なる形式で書かれた複数の文章を読み、読み取った情報を吟味させる。	【指導内容】 ・情報の信頼性や妥当性について考えさせる。 ・データ引用の目的と効用、具体的な方法を理解させる。 ・改正前後の法律文を読み比べ改正点を把握した上で、その理由や課題を考察し、文章にまとめさせる。 【教材】 「情報の探索と選択」 「情報源の明示」 「法律の改正に関わる文章を読み比べる」	○		【知識及び技能】 ・情報の信頼性や妥当性の吟味の仕方や引用の目的と効用、具体的な方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報の探索と選択、引用を適切に活用する力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・異なる形式で書かれた複数の文章を読み、読み取った情報を吟味しようとしている。	○	○	○	7
	D	現代社会の課題を把握し、適切な形で社会へと発信する方法を理解させる。 【知識及び技能】 ・意見文の書き方について理解させた上で、文章にまとめさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代社会における課題を理解した上で、自分の意見や見解を適切に主張する力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報社会、メディア社会に生きる者としての問題意識を持たせる。	【指導内容】 ・情報やメディア社会の現状について述べた文章を読み、筆者が提起する課題を理解させる。 ・テーマに沿った意見文を作成させる。 ・他者の意見文を読み、それに対する投稿文を作成させる。 ・グループ内で意見交換を行わせる。 【教材】 現代の「世論調査」（林早香） 「社会に対する意見文を書く」	○		【知識及び技能】 ・意見文の書き方を理解した上で、文章をまとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代社会における課題を理解した上で、自分の意見や見解を適切に主張する力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報社会、メディア社会に生きる者としての問題意識を持とうとしている。	○	○	○	7

E	資料を読み比べ必要な情報を読み取った上で、複数の情報を関連づけて考察させる。 【知識及び技能】 ・複数の図表やグラフに含まれている情報を読み取る力を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・労働問題に関わる資料を読み比べ、複数の情報を関連づけて考えさせることで理解を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・複数の資料から読み取った情報を吟味させる。	【指導内容】 ・労働問題に関わる資料を読み比べ、必要な情報を読み取らせる。 ・複数の情報を関連づけて理解した内容をレポートにまとめさせる。	○	【教材】 「日本の労働問題に関わる資料を読み比べる」	【知識及び技能】 ・複数の図表やグラフに含まれている情報を読み取る力を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・労働問題に関わる資料を読み比べ、複数の情報を関連づけて考えることで理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・複数の資料から読み取った情報を吟味しようとしている。	○	○	○	4
	F 現代社会の課題に対する自分の意見・見解を、論理構成に注意しながら文章にまとめる力を身につけさせる。 【知識及び技能】 ・小論文の書き方を理解し、実践させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代社会における課題を理解した上で、自分の意見や見解を、論理構成を意識した形で文章にまとめる力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・資本主義社会に生きる者としての問題意識を持たせた上で、SDG sについて考えさせる。	【指導内容】 ・文章を分析的に読む方法を学び、意見を形成していく論理の展開を理解させる。 ・資本主義や環境問題について述べた文章を読み、筆者の意図を理解した上で、主張を把握させる。 ・テーマに沿った小論文を書かせる。	○	【教材】 「論理分析 事実と意見」 「論理分析 推論」 「論理分析 主張と反論」 ロビンソン的人間と自然 (村岡晋一)	【知識及び技能】 ・小論文の書き方を理解し実践している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代社会における課題を理解した上で、自分の意見や見解を、論理構成を意識した形で文章にまとめる力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・資本主義社会に生きる者としての問題意識を持った上で、SDG sについて考えようとしている。	○	○	○	7
G	実用的な手紙文として、相手に情報を適切に伝える文章の書き方を習得させる。 【知識及び技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、相手へ配慮した表現の工夫を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報の分量や重要度などを鑑み、自分の考えが的確に伝わるよう表現を工夫する力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・表現の仕方を工夫して相手に情報を適切に伝えようとする力を身につけさせる。	【指導内容】 ・依頼文と案内文の書き方を理解させた上で、企業や地域の人に向けた依頼文や案内文を作成する。 【教材】 「実用的な手紙の書き方」	○		【知識及び技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、相手へ配慮した表現の工夫を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報の分量や重要度などを鑑み、自分の考えが的確に伝わるよう表現を工夫する力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・表現の仕方を工夫して相手に情報を適切に伝える力を身につけようとしている。	○	○	○	2
定期考査			22	31	13		○	○	1
									合計
									70

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教 科： 国語 科 目： 言語文化 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（「高等学校 精選 言語文化」第一学習社）

教科 国語 の目標：

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知 識 及 び 技 能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
前期	A 作品中に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えさせる。 【知識及び技能】 - 小説という文章の特徴をふまえ、内容や構成、展開などを的確に捉えさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 設定を把握した上で、登場人物の行動や心理について読み取る力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 - 作品の成立した背景や他の作品との関係をふまえ、内容の解釈を深めさせる。	【指導内容】 - 時代設定、場面設定、人物設定を把握した上で、登場人物の行動や心理について考察させる。 - 原典との比較を通し、近代小説と古典文学とのつながりを理解させる。 【教材】 「羅生門」（芥川龍之介） 「羅城門登上層見死人盗人話」（今昔物語集）			○	【知識及び技能】 - 小説という文章の特徴をふまえ、内容や構成、展開などを的確に捉えている。 【思考力、判断力、表現力等】 - 設定を把握した上で、登場人物の行動や心理について読み取る力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 - 作品の成立した背景や他の作品との関係をふまえ、内容の解釈を深めようとしている。	○	○	○	9
	B 説話文学に接することで古文に対する親近感をもたせ、古文の特徴に慣れさせる。 【知識及び技能】 - 古典文法のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 説話を読み味わい、話のおもしろみを捉えさせる。	【指導内容】 - 歴史的仮名遣いや品詞の種類、活用と活用形など、古典文法の基礎知識を身に付けさせる。 - 人間描写をおさえることで、登場人物の心情や話のおもしろみについて考えさせる。 【教材】 「古文を読むために 1、2」 「児のそら寝」（宇治拾遺物語）			○	【知識及び技能】 - 古典文法のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 - 文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 - 説話を読み味わい、話のおもしろみを捉えようとしている。	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1
	C 古文における人物造形のおもしろみを把握した上で、文章を読み味わい、古文の世界への親しみを深めさせる。 【知識及び技能】 - 古典文法のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 事件を叙述する手順を理解させ、登場人物の行動の描き方を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 主人公と世間の人とのものの考え方や感じ方の違いについて考えさせる。	【指導内容】 - 用言の活用について理解させる。 - 絵仏師良秀と世間の人とのものの考え方、感じ方の違いについて考えさせる。 【教材】 「古文を読むために 3」 「絵仏師良秀」（宇治拾遺物語）			○	【知識及び技能】 - 古典文法のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 - 事件を叙述する手順を理解させ、登場人物の行動の描き方を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 - 主人公と世間の人とのものの考え方や感じ方の違いについて考察しようとしている。	○	○	○	5
	D 漢文の訓読に慣れるとともに故事成語の成り立ちについて理解を深めさせる。 【知識及び技能】 - 漢文訓読の基礎知識を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 寓話をういた文章にふれ、中国の戦国時代における遊説家の活躍について理解を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 漢文と日本文化との関係性について認識させる。	【指導内容】 - 返り点、助字、再読文字など漢文句法の基礎知識を身に付けさせる。 - 寓話をういた説得術の巧みさについて考えさせる。 【教材】 「漢文を読むために 1～5」 「漁夫の利」（戦国策）			○	【知識及び技能】 - 漢文訓読の基礎知識を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 - 寓話をういた文章にふれ、中国の戦国時代における遊説家の活躍について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 - 漢文と日本文化との関係性について捉えようとしている。	○	○	○	4

E	作り物語の特色と読み解き方を理解させる。 【知識及び技能】 ・古典文法のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の歴史的・文化的背景や古文常識について興味を持たせる。	【指導内容】 ・作り物語という文章の種類をふまえ、内容や展開を的確に捉えさせる。 ・歌物語の特徴を理解した上で和歌が果たしている役割について考察させる。 ・読み比べを行い、それぞれの特色や魅力について考えを深めさせる。 【教材】 「なよ竹のかぐや姫」 (竹取物語)			○	【知識及び技能】 ・古典文法のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の歴史的・文化的背景や古文常識について興味を持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	3
F	歌物語の特色と読み解き方を理解させる。 【知識及び技能】 ・古典文法のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の歴史的・文化的背景や古文常識について興味を持たせる。	【指導内容】 ・歌物語の特徴を理解した上で和歌が果たしている役割について考察させる。 ・読み比べを行い、それぞれの特色や魅力について考えを深めさせる。 【教材】 「芥川」「筒井筒」 (伊勢物語) 「沖つ白波」(大和物語)			○	【知識及び技能】 ・古典文法のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の歴史的・文化的背景や古文常識について興味を持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
定期考查							○	○		1
A	非日常性の高い世界を描いた文章を読み味わい、作者の創作意図について考察を深めさせる。 【知識及び技能】 ・小説という文章の特徴をふまえ、内容や構成、展開などを的確に捉えさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語の概略を理解した上で作者が作品を描いた意図について考察を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品についての考察を深め自らの考えを文章にまとめさせる。	【指導内容】 ・「第一夜」を読み、主人公と女の関係性、「百年」の意味について考察させる。 ・「第六夜」を読み、作中人物が二つの類型に分かれていることを理解させる。 ・夏目漱石が作品に込めた主張思いを自分なりに推測し、作品論を書かせる。 【教材】 『夢十夜』 「第一夜」「第六夜」 (夏目漱石)			○	【知識及び技能】 ・小説という文章の特徴をふまえ、内容や構成、展開などを的確に捉えている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語の概略を理解した上で作者が作品を描いた意図について考察を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品についての考察を深め、自らの考えを文章にまとめようとしている。	○	○	○	6
B	漢文の訓読に慣れるとともに故事成語の成り立ちについて理解を深めさせる。 【知識及び技能】 ・漢文訓読の基礎知識を定着させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・寓話を用いた文章にふれ、中国の戦国時代における遊説家の活躍について理解を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文と日本文化との関係性について認識させる。	【指導内容】 ・漢文入門で学んだ訓読の知識を用いてまとまった文章を読ませ、定着度を確認する。 ・寓話を用いた説得術の巧みさについて考えさせる。 【教材】 「狐借虎威」(戦国策)			○	【知識及び技能】 ・漢文訓読の基礎知識を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・寓話を用いた文章にふれ、中国の戦国時代における遊説家の活躍について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文と日本文化との関係性について捉えようとしている。	○	○	○	2
C	日記文学の特色と読み解き方を理解させる。 【知識及び技能】 ・古典文法のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の歴史的・文化的背景や古文常識について興味を持たせる。	【指導内容】 ・助動詞の意味・接続・活用について理解させる。 ・日記文学という文章の種類をふまえ、内容や展開を的確に捉えさせる。 ・記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図について考察させる。 【教材】 「古文を読むために 4」 「門出」「帰京」(土佐日記)			○	【知識及び技能】 ・古典文法のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の歴史的・文化的背景や古文常識について興味を持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	9
D	漢文の訓読に慣れるとともに故事成語の成り立ちについて理解を深めさせる。 【知識及び技能】 ・漢文訓読の基礎知識を定着させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、登場人物を押さえ、主要な人物の考えや主張を読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文と日本文化との関係性について認識させる。	【指導内容】 ・漢文入門で学んだ訓読の知識を用いてまとまった文章を読ませ、定着度を確認する。 ・内容や展開、登場人物の言動を読み取り、考えや主張について考えさせる。 【教材】 「臥薪嘗胆」(十八史略)			○	【知識及び技能】 ・漢文訓読の基礎知識を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・寓話を用いた文章にふれ、中国の戦国時代における遊説家の活躍について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文と日本文化との関係性について捉えようとしている。	○	○	○	2
定期考查							○	○		1

[illegible]

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科：地理歴史 科目：地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位
対象学年組：第1学年 1組～6組／第2学年 1組～7組／第3学年 1組～7組
使用教科書：高等学校 新地理総合（地総－703：帝国書院）／新詳高等地図（地総－702：帝国書院）
教科：地理歴史 の目標

我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、
国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。

科目：地理総合 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまわっている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

	指導項目・内容	単元の具体的な指導目標	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	授業オリエンテーション	授業の進め方・評価の方法・ノート の取り方等指導。 授業事前アンケートの実施。 中学までの既習内容（都道府県・ 県庁所在地など）の確認と復習。	③主体的に学習に取り組む態度 授業事前アンケート			○	3
	地球上の位置 緯度・経度について 自転・公転について	人間が生活している地球の大きさ や形を理解し、位置を示すための 緯度・経度の仕組みを学ぶことに より、記号と数値を用いて位置を 示せるようにする。また、自転・ 公転の周期と地軸の傾きによって 起こる季節変化について考える。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
	時差について	地球の自転によって生じる時差の 仕組みを理解し、任意の2点間の 時差を計算できるようにする。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	3
	地球儀と地図	地球上における角度・方位・距 離・面積のすべてが正しい表現方 法は地球儀のみであることを知り 、様々な世界地図の長所・短所 を学ぶことで適した利用方法につ いて考える。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
	身の回りの地図・統計地図 地形図 地理情報システム（GIS）の活用	主題図・一般図・統計地図の種類 と特徴について学び、地形図を読 図する図式について復習する。ま た、地理情報システム（GIS）の活 用例として、Google Mapや地理院 地図を一人1台端末を使って実際 に操作してみる。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	3
	国家の領域と国境・領土問題	日本の位置と領域を学び、隣国と の国境に関する各地の紛争を学 ぶ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
	国家間の結びつきと貿易 さまざまな交通網の発達	東西冷戦後の世界の軍事的・経済 的結びつきについて学ぶ。また、 人が移動するために発達させてき た交通機関のメリット・デメリッ トについて学ぶ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
	世界を結ぶ通信網の発達 観光のグローバル化	通信技術の発達や高度情報社会の 生活や企業活動について学ぶ。ま た、ヨーロッパや日本の観光の多 様化、グローバルな人の移動につ いて学ぶ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	3

後期	大地形 小地形	プレートテクトニクス理論について学び、河川が作り出す扇状地や三角州、海岸地域の地形やカルスト地形及び水河地形など、地形と人間生活の密接な関わりについて学ぶ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	3
	期末考査	地球環境とその表現方法や人間生活と自然環境の関わりについて様々な問題を解けるようにする。		○	○		1
	47都道府県 世界の国名と主要都市 ふりかえり	日本及び世界の主要都市についての復習と前期の総括。	③主体的に学習に取り組む態度 課題・学習の振り返り			○	1
	地形図の読図	図式を活用しながら実際に地形図を読図する。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	3
	気温・降水と大気循環	気温や風、降水の仕組み、大気の大循環を学ぶとともに、気候と海流の関係について学ぶ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	3
	ケッペンの気候区分	ケッペンの気候区分図を作成させ、それぞれの気候区分の特徴をつかむ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	3
	雨温図・ハイスグラフ	クライモグラフとハイスグラフを作成させ、各地域の気候の特色をつかむ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
	気候区：熱帯・乾燥帯	ケッペンの気候区分により世界の気候の特徴を学び、農業や食文化など、人間生活とのかかわりを学ぶ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
	気候区：温帯・冷帯・寒帯	ケッペンの気候区分により世界の気候の特徴を学び、農業や食文化など、人間生活とのかかわりを学ぶ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
	世界の言語・宗教・民族	世界の言語や三大宗教の特徴、民族について学ぶ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	3
	アジアの国々 中国の生活・文化	中国の自然環境（地形・気候）を学び、地域ごとの農業の特徴などを考察する。また、中国の鉱産資源の産出地について学び、都市ごとの工業の特徴の違いについて学習する。また、経済特区、日本との貿易について理解する。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	3
	アジアの国々 北朝鮮・韓国	朝鮮半島の分断の背景や、北朝鮮・韓国それぞれお経済発展の違いについて、歴史・文化を絡めて学習する。また、日本との関わりについて考える。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	3
	東南アジアの生活・文化	東南アジアの自然環境や産業について学び、日本との関わりについて考える。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	3
	中間考査	地形図の読図の方法や図式について問う。					

		ケッペンの気候区分を中心に世界の気候区の特徴について問う。 東アジア・東南アジアについて問う、文化の違いや日本との関わりについて理解できるようにする。		○	○		1
	南アジアの生活・文化	南アジアの自然環境、民族や宗教について学び、発展しつつある経済について考える。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
	中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化	中央アジア・西アジア・北アフリカの自然環境、民族や宗教について学び、発展しつつある経済について考える。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
	サハラ以南のアフリカの生活・文化	サハラ以南のアフリカの自然環境、民族や宗教について学び、発展しつつある経済について考える。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
	ヨーロッパの生活・文化	ヨーロッパの自然環境を学び、どのように産業に生かしているのかを考察する。また、ヨーロッパのEUへの統合の歩みを確認し、なぜ統合が進んでいるのかを考察する。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
	ロシアの生活・文化	ロシアの自然環境を学び、その歴史や社会の変化について理解する。また、産業の変遷についても考察する。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
	アメリカ合衆国の生活・文化	アメリカ合衆国における工業の変遷について理解する。 アメリカ合衆国の先端技術産業が世界をリードしている背景を理解する。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
	ラテンアメリカの生活・文化	ラテンアメリカの自然環境について学び、人種・民族の融合で生まれた文化について考察する。また、各国の農業や発展する工業について理解する。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
	オセアニアの生活・文化	オセアニアの生活や文化について学ぶ。また、オセアニアとアジア太平洋との結びつきについて、貿易や経済機構を通して理解する。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
	学年末考査	南／中央／西アジア・アフリカ・ヨーロッパ・ロシア・南北アメリカ・オセアニアの自然環境や農業・産業の特徴について問う。 また、アメリカ合衆国の建国やヨーロッパのEUの動きについて理解度を問う。		○	○		1
							合計
							70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 歴史総合 近代から現代へ（山川出版社）、新詳歴史総合（浜島書店））

教科 0 の目標：

【知識及び技能】 日本及び世界の歴史を理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現代社会にみられる課題の解決に向けて考察する力や、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現に向けて、課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
諸資料から、歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

	指導項目・内容	単元の具体的な指導目標	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	授業オリエンテーション	授業の進め方・評価の方法等指導。中学までの既習内容（都道府県・県庁所在地など）の確認と復習。	③主体的に学習に取り組む態度 小テスト・学習の振り返り			○	2
	A ヨーロッパの主権国家体制の形成と海外進出について理解させる。	アジア 3 帝国の繁栄を理解している。清と江戸幕府の政治・経済政策の特徴について考察している。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 ワーク・学習の振り返り	○	○	○	3
	中間考査			○	○		1
	B 欧米列強がどのように植民地化を進めていったかを理解する。	「東方問題」に関係する国々と、各国の論理を理解している。ビスマルク外交の基本方針が、どのように反映されたかを考察し、表現している。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 ワーク・学習の振り返り	○	○	○	9
	47都道府県・世界の国名と主要都市 ふりかえり	日本及び世界の主要都市についての復習	③主体的に学習に取り組む態度 小テスト・学習の振り返り			○	1
	C 明治政府が、諸外国とどのような関係を築こうとしたかをまとめている。	新政府の方針を比較して共通点・相違点を考察している。岩倉使節団が、何を視察して帰国したのか追究しようとする。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 ワーク・学習の振り返り	○	○	○	3
	D 明治政府の条約改正が、東アジアの国際関係にどのような影響を与えたのか理解している。	帝国主義の生まれた背景や進展について、主要国の動向を考察し、表現している。また、支配されたアフリカ・太平洋諸地域の視点からもとらえて追究しようとしている。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 ワーク・学習の振り返り	○	○	○	6
	期末考査			○	○		1
後期	E 第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化を理解している。	バルカン半島の地理的・民族的・宗教的な複雑さをもとに、東方問題が第一次世界大戦の開戦に影響をあたえたことを多面的・多角的に考察している。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 ワーク・学習の振り返り	○	○	○	9
	F 第二次世界大戦のおこった背景を理解し、人びとの生活がどうであったか理解している。	大戦のおこった背景を理解し、政治や社会情勢だけでなく、人びとの生活にどれほど影響を与えたかを考察する。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 ワーク・学習の振り返り	○	○	○	9
	中間考査			○	○		1
	G 2つの大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築していこうとしているか理解している。	国際連合のしくみと内容について、政治的・経済的な面から理解して、新しい秩序にどう対応しているかを考察している。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 ワーク・学習の振り返り	○	○	○	5
	H 東西冷戦が続く一方、「第三世界」の形成が、国際社会にあたえ	冷戦という新たな対立がおこった、背景・過程・結果を追究しよ	①知識・技能 定期考査				

	た影響を理解している。	うとしている。アフリカ・アジア諸国の独立の経緯を考察し、旧宗主国はどのような対応をとったのかを、各国別に表現している。	②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 ワーク・学習の振り返り	○	○	○	10
	I ソ連の崩壊と経済のグローバル化について、その影響や懸念される点を考察している。	ゴルバチョフによる新思考外交を契機として冷戦が終結したことを理解している。グローバル化のなかで新たに登場した、新自由主義について理解している。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 ワーク・学習の振り返り	○	○	○	5
	J 地域紛争やテロ、難民など現代の諸課題について、原因・過程を理解し、どのように対応していけばよいかを考察している。	諸資料から問いを立てることができることや、経緯や背景、共通点や相違点、担い手といった視点から整理することが有効であることを理解している。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 ワーク・学習の振り返り	○	○	○	5
	学年末考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 公民科 科目 公共

教科： 公民科 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： （ 詳述公共・実教出版 ）

教科 公民科

【知 識 及 び 技 能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共	目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。	人間とは何か ライフサイクルと青年期 欲求と防衛機制	(知) 青年期における自己形成の課題や、現代の青年の課題について、心理学の見方・考え方を理解している。 (思) 人間について、自己と他者の関係をとらえて考察することができる。 (知・思) 人間の行動と欲求の関係について、心理学の見方・考え方を理解し、考察することができる。 (学) 知識理解をもとに、自身の自己形成や他者および社会との関係について、考察し、言葉で表現することができる。	○	○	○	12
	現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解させる。	ギリシアの思想と哲学 宗教	(知) ソクラテスがアテナイ市民に無知の自覚を求め、問答による探究を説いた意図について理解している。(知) プラトンが考えた理想主義の真理について、どのような概念で何を指示しているかを理解している。(知・思) アリストテレスの考え方について、プラトンの考え方と対比して、その違いを指摘できる。(思) ソクラテスやプラトンの求めた人間の生き方について、考察することができる。(学) 哲学を実践し、自己の置かれた状況や日常について、よく考え、気づきを得ようとしたり、再認識しようとした。 (知) ユダヤ教と原始キリスト教の教えについて、世界の成り立ちや生きる意味について、どのようにとらえていたかを理解している。(知) イスラームの誕生と信仰や実践について、預言者が説いている内容の特徴について、理解している。(知) 原始仏教について、ゴータマの悟りの内容について理解している。 (思) 人の行いや人生を導く宗教の教えについて、人間のどのような側面に着目しているかを理解し、人の行いやあり方について、具体例を用いて考察することができる。(学) 人の行いや他者との関係について、三大宗教のキーワードをとらえて、考察したり、自分とは異なる考えの行動を選ぶ他者について理解を深めようとした。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。 ・個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。	公正と正義 民主政治の基本原理	(知) 思考実験「共有地の悲劇」を通じて、各人の思惑や行動がどのような結果をもたらすかについて、多面的・多角的にとらえることができる。(思) 思考実験「共有地の悲劇」を通じて、各人の行動選択や生じる結果について、他の生徒の考えを参照したり比較したりしながら考察できる。(学) 自分の考えをわかりやすく伝えてグループ内で共有するとともに、他の生徒の主張を聴いて、根拠や着眼点を確認し、考えを深めることができる。 (知) 政治や権力について、社会の中でのあり様をとらえて、市民革命によってどのような変化があったのかを理解している。 (知) 人権保障、民主主義の発展について、経緯及び課題について理解している。(思) 民主政治の基本原理の成立過程を踏まえて、果たすべき機能や実現すべき状態について、考察することができる。(学) 教科書の内容を踏まえて、身近な諸問題に関心を向け、関連を自ら見つけて、考察することができる。	○	○	○	12
	・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解させる。	政治参加	(知) 各国の統治機構のしくみについて、理解している。(知) 選挙の意義と選挙制度の形態および特徴について理解している。(思) わが国の統治機構や選挙制度について、現状や課題をとらえて、考察することができる。(学) わが国の統治機構や選挙制度について、現状や課題をとらえて、自分の考えをまとめて発表し、他の生徒と議論することができる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

後 期	・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。	市場経済と日本経済	(知)わが国の経済が第二次世界大戦後に民主化され、経済復興を果たした過程について、理解している。(知)資本主義経済や市場経済の課題について、日本経済の歩みを踏まえて、背景や原因について理解している。(思)日本経済の現状や歩みを踏まえて、これからの社会を構想し、解決すべき課題について、考察することができる。(学)経済的な見方・考え方を働かせ、主体的に諸問題を見つけ、課題を指摘することができる。	○	○	○	10
	・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解させる。	国民福祉と国際政治	(知)雇用や労働の法制度、社会保障制度について、意義や役割について理解している。(知)人口減少社会や財政状況について、生じている問題や始まっている取り組み・対策を把握している。(思)これからの社会を構想し、多様な視点で多角的に諸課題について、考察することができる。(学)自分の人生や将来と関連付けて、これまでの学習で身につけた見方・考え方を働かせ、諸問題を見つけて課題を指摘し、背景を踏まえてあるべき姿を述べたり、根拠をとともに意見を主張したりすることができる。	○	○	○	10
							合計
							70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学				科目 数学Ⅰ	
教 科： 数学		科 目： 数学Ⅰ		単位数： 3 単位	
対象学年組：第 1 学年		1 組～ 7 組			
使用教科書：（東京書籍 数学Ⅰ		S t a n d a r d		）	
教科 数学		の目標：			
【知 識 及 び 技 能】		数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			
【思考力、判断力、表現力等】		数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。			
【学びに向かう力、人間性等】		数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			

科目 数学Ⅰ		の目標：	
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の課程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	
		【学びに向かう力、人間性等】	
		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期		(1)数と式 【知識及び技能】 （ア）数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 （イ）集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 （ウ）二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 （エ）不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 （ア）集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。 （イ）問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 （ウ）不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。 （エ）日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・式の計算 ・実数 ・1次不等式 ・集合 ・命題と論証	【知識・技能】 ・数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	25
		定期考査			○	○		1
		(2)二次関数 【知識及び技能】 （ア）二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 （イ）二次関数の最大値や最小値を求めること。 （ウ）二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 （ア）二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。 （イ）二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・2次関数とそのグラフ ・2次方程式と2次不等式	【知識・技能】 ・2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	25

後期	定期考査			○	○		1
	(3)図形と計量 【知識及び技能】 （ア）鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。 （イ）三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。 （ウ）正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 （ア）図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。 （イ）図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・鋭角の三角比 ・三角比の拡張 ・三角形への応用	【知識・技能】 ・図形と計量についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○		26
	定期考査			○	○		1
	(4)データの分析 【知識及び技能】 （ア）分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解すること。 （イ）コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすること。 （ウ）具体的な事象において仮説検定の考え方を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 （ア）データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察すること。 （イ）目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現すること。 （ウ）不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・データの分析 ・データの分析の応用 ・仮説検定の考え方	【知識・技能】 ・データの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。				25
	定期考査			○	○		1
							合計
							105

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A
教 科： 数学 科 目： 数学A 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 東京書籍 数学Astandard ）

教科 0 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	1-1-0「集合（数学Ⅰ）」 【知識及び技能】 集合に関する基本的な概念を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の考えを用いて論理的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度が身につく。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・集合に関する基本的な概念や記号の意味を理解し、適切に用いることができる。 ・要素の条件を正しく読み取り、与えられた集合を要素を書き並べる方法で表すことができる。 【思考・判断・表現】 ・具体的な集合の例をもとにして、集合同士の共通部分や和集合の概念について考察することができる。 ・集合を図で表すことによって、ド・モルガンの法則が成り立つことを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な集合の例をもとにして、集合同士の共通部分や和集合の概念について考えようとしている。 ・集合を図で表すことによって、ド・モルガ	○	○	○	4
	1-1-1「数え上げの原則と集合の要素の個数」 【知識及び技能】 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度が身につく。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・和集合・補集合の要素の個数、和の法則や積の法則を利用した場合の数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・集合の要素の個数を図や補集合を用いて考察したり、和の法則や積の法則を利用して場合の数を計算したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集合の要素の個数を図や補集合を用いて考えたり、積の法則による場合の数の計算方法を考えたりしようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	1-1-2「順列」 【知識及び技能】 具体的な事象を基に順列の意味を理解し、順列の総数を求められる。 【思考力、判断力、表現力等】 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度が身につく。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・順列の総数 nPr や階乗の値や条件のある並び方の総数などを計算することができる。 ・円順列や重複順列について理解し、それらの総数を計算することができる。 【思考・判断・表現】 ・円順列及び重複順列について図をかくなどしながら、原理を理解して立式し、場合の数の求め方を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・円順列及び重複順列について図をかくなどしながら、立式して場合の数の求め方を考えようとしている。	○	○	○	4
	1-1-3「組合せ」 【知識及び技能】 具体的な事象を基に組合せの意味を理解し、組合せの総数を求められる。 【思考力、判断力、表現力等】 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度が身につく。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・組合せの総数 nCr を理解し、計算することができる。 ・順列や組合せの考えを用いて、同じものを含む順列の求め方を理解し、総数を計算することができる。 【思考・判断・表現】 ・選び方の違いによって、その総数の求め方が組合せになるか順列になるかを説明することができる。 ・選び方の総数が一致する場合の法則性を考察することができる。 ・同じものを含む順列の総数の求め方を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・順列や組合せの考え方を用いて、選び方の総数が一致する場合の法則性や同じものを含む順列の総数の求め方を考えようとしている。	○	○	○	6

定期考査			○	○		1
1-2-1「事象と確率」 【知識及び技能】 具体的な事象を基に組合せの意味を理解し、組合せの総数を求められる。 【思考力、判断力、表現力等】 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度が身につく。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・事象を集合で表したり、事象の確率を求めたりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・同様に確からしいことを利用して、事象の確率の考え方を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・同様に確からしい根元事象と関連付けながら事象の確率の考え方を説明しようとしている。	○	○	○	3
1-2-2「確率の基本性質」 【知識及び技能】 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度が身につく。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・積事象と和事象の確率について理解している。 ・排反事象と確率の加法定理について理解し、それらを用いて確率を求めることができる。 ・確率の基本性質や余事象の確率について理解し、和事象の確率や余事象の確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・互いに排反でない2つの事象の和事象の確率の求め方や、余事象を用いた確率の求め方について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・余事象を用いて確率を求めることのよさに気づき、余事象を積極的に活用しようとしている。	○	○	○	4
1-3-1「独立な試行の確率」 【知識及び技能】 独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度が身につく。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・独立な試行の確率について、具体例を通してその意味を理解し、その確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・独立な試行の確率はそれぞれの事象の確率の積に等しいことに着目し、具体例を通して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・独立な試行の確率を求めるために、それぞれの事象の確率の積に着目して、そのことを活用しようとしている。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
1-3-2「反復試行の確率」 【知識及び技能】 独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度が身につく。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・反復試行の確率を理解し、反復試行の確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・反復試行の確率について、組合せの考え方と関連させて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・反復試行の確率について、組合せの考え方と関連付けて考えようとしている。	○	○	○	4

後期	1-3-3「条件付き確率」 【知識及び技能】 条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度が身につく。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・条件付き確率の意味と確率の乗法定理を理解し、条件付き確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・これまで求めてきた確率と条件付き確率の違いを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	4
	1-3-4「期待値」 【知識及び技能】 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度が身につく。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・期待値について理解し、期待値を求めたり、期待値を利用して確率を求めたりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・期待値を具体的な問題の意思決定に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・期待値を具体的な問題の意思決定に利用しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	2-1-1「三角形と比」 【知識及び技能】 三角形に関する基本的な性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係や既学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度が身につく。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・三角形の内角の二等分線と比、外角の二等分線と比などについて理解し、それらを用いて線分の長さを求めることができる。また、数直線上の内分点、外分点の座標を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・三角形の内角の二等分線と比の性質の証明をもとに、三角形の外角の二等分線と比の性質を証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・三角形の内角の二等分線と比の性質の証明と関連付けて、三角形の外角の二等分線と比の性質を考えようとしている。	○	○	○	3
	2-1-2「三角形の外心・内心・重心」 【知識及び技能】 三角形に関する基本的な性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係や既学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度が身につく。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・三角形の外心・内心・重心の性質を利用して、角の大きさや線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・三角形の外心・内心・重心の存在とその証明について、様々な性質を利用しながら考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・三角形の外心・内心・重心の存在とその証明について、様々な性質を利用しながら考えようとしている。	○	○	○	3
	2-1-3「三角形の比の定理」 【知識及び技能】 三角形に関する基本的な性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係や既学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度が身につく。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・チェバの定理、メネラウスの定理を利用しているいろいろな辺の長さや比を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・チェバの定理の証明について、面積比を利用して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・チェバの定理の証明について、面積比を利用して考えようとしている。	○	○	○	2
	2-2-1「円の性質」 【知識及び技能】 円に関する基本的な性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係や既学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度が身につく。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・円周角の定理とその逆、円に内接する四角形の定理、四角形が円に内接する条件の定理、接線と弦のつくる角の定理を利用して、角の大きさを求めることができる。また、円に内接する四角形を選ぶことができる。 【思考・判断・表現】 ・円に内接する四角形の定理、接線と弦のつくる角の定理それぞれの証明について、円周角の定理を利用して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・円に内接する四角形の定理、接線と弦のつくる角の定理それぞれの証明について、円周角の定理を利用して考えようとしている。	○	○	○	3
	2-2-2「方べきの定理」 【知識及び技能】 円に関する基本的な性質について理解すること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・方べきの定理を利用して線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】				

【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度が身につく。		・方べきの定理の証明について、三角形の相似を利用して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・方べきの定理の証明について、三角形の相似を利用して考えようとしている。	○	○	○	2
2-2-3「2つの円」 【知識及び技能】 円に関する基本的な性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・2つの円の位置関係から補助線を引くことによって、線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・2つの円の位置関係を理解し、そこに現れる図形の性質を利用して、2つの円の共通接線の本数を考察したり、説明したりすることができる。	○	○		2
2-2-4「作図の方法の考察」 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度が身につく。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【思考・判断・表現】 ・円の外部の点から接線を2本引いたときの接線の始点と円の接点との関係に気付き、その関係を活用して接線の作図の考え方を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・円の外部の点から接線を2本引いたときの接線の始点と円の接点との関係を活用して接線の作図の考え方を説明しようとしている。			○ ○	2
2-3-1「空間における2直線・2平面の関係」 【知識及び技能】 空間図形に関する基本的な性質について理解すること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・空間における2直線・2平面のなす角を求めることができる。	○			2
2-3-2「直線と平面の関係」 【知識及び技能】 空間図形に関する基本的な性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度が身につく。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・空間における直線と平面の位置関係が垂直であることをかき示すことができる。 【思考・判断・表現】 ・空間における直線と平面の位置関係が垂直になる場合について、平面上の直線に着目して考察したり、説明したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・空間における直線と平面の位置関係が垂直になる場合について、平面上の直線に着目して説明しようとしている。	○	○	○	3
定期考査			○	○		1
						合計
						70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科： 理科 科目： 化学基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： （ 新編 化学基礎（東京書籍） ）

教科 理科	の目標：
【知識及び技能】	身の周りの自然やそこで生じる現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な知識や技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	観察や実験を通し、科学的に探究し共有するために必要な力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	身の周りの自然やそこで生じる現象について理解を深め、自ら疑問をもって探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標： 身の周りの化学、化学的現象に関わりながら科学的な考え方、探究活動を行う力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学について理解を深め、科学的に探究するために必要な知識や技能を身につけること。	観察や実験を通し、科学的に探究し共有するために必要な力を養う。	化学について理解を深め、自ら疑問をもって探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A 化学と人間生活 【知識及び技能】 身のまわりにある化学と物質について知り、化学の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身のまわりの化学についての課題を見出し、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身のまわりの化学に関して主体的に関わり自ら疑問をもって探究しようとする態度を養う。	◎指導事項 ・身のまわりの化学 ◎教材 ・新編化学基礎 ・サイエンスビュー化学総合資料 ・リードLightノート化学基礎 ◎主な観察・実験・考察学習 ・身のまわりにある化学を見つけ、その物質が使われている理由について班で話し合う。	【知識・技能】 化学と物質についての実験などを通して、化学の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 身のまわりの化学について考え、目的をもって実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身のまわりの物や製品について、友人と話し合いながら構成物質の視点で考えようとしている。	○	○	○	2
	B 物質の成分と構成元素 【知識及び技能】 物質の成分について、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関して理解するとともに、観察・実験などに関する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の成分についての課題を見出し、目的をもって観察・実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	◎指導事項 ・物質の成分 ・物質の構成元素 ・物質の三態 ◎教材 ・新編化学基礎 ・サイエンスビュー化学総合資料 ・リードLightノート化学基礎 ◎主な観察・実験・考察学習 ・混合物の分離精製に関する実験 ・炎色反応の実験	【知識・技能】 物質の成分についての実験などを通して、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関して理解しているとともに、科学的探究に関する実験操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質の成分についての課題を見出し、目的をもって実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもち、振り返るなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	C 物質の構成 【知識及び技能】 物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表に関して理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 原子の構造や電子配置と周期表についての課題を見出し、目的をもって観察・実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもち、振り返るなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	◎指導事項 ・原子の構造 ・電子配置と周期表 ◎教材 ・新編化学基礎 ・サイエンスビュー化学総合資料 ・リードLightノート化学基礎 ◎主な観察・実験・考察学習 ・エレメントカードを用いて元素の周期律について確認する。 ・元素の性質の規則性について考察する。	【知識・技能】 物質の構成粒子についての実験などを通して、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・原則に関して理解しているとともに、科学的探究に関する実験操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 原子の構造や電子配置と周期表についての課題を見出し、目的をもって実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもち、振り返るなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	D 化学結合 【知識及び技能】 化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合に関して理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合についての課題を見出し、目的をもって観察・実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	◎指導事項 ・イオンとイオン結合 ・分子と共有結合 ・金属と金属結合 ・化学結合と物質の分類 ◎教材 ・新編化学基礎 ・サイエンスビュー化学総合資料 ・リードLightノート化学基礎 ◎主な観察・実験・考察学習 ・結合の種類から物質の大きな性質について分類し考察する。 ・塩の劈開の実験	【知識・技能】 化学結合についての実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則に関して理解しているとともに、科学的探究に関する実験操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合についての課題を見出し、目的をもって実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもち、振り返るなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
	E 物質量和化学反応式 【知識及び技能】 物質量和化学反応式について、物質量、化学反応式に関して理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質量和化学反応式についての課題を見出し、目的をもって観察・実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 物質量、化学反応式に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	◎指導事項 ・原子量・分子量・式量 ・物質量 ・溶液の濃度 ・化学反応の表し方 ・化学反応式の表す量的関係 ◎教材 ・新編化学基礎 ・サイエンスビュー化学総合資料 ・リードLightノート化学基礎 ◎主な観察・実験・考察学習 ・化学反応式と量的関係に関する実験	【知識及び技能】 物質量和化学反応式についての実験などを通して、物質量、化学反応式の基本的な概念や原理・原則に関して理解しているとともに、科学的探究に必要な実験操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 物質量和化学反応式についての課題を見出し、目的をもって実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 物質量、化学反応式について主体的に関わり、見通しをもち、振り返るなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12

	定期考査			○	○		1
後期	F 酸と塩基 【知識及び技能】 実験などを通して、酸・塩基と中和に関して理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 酸・塩基と中和についての課題を見い出し、目的をもって観察・実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 酸・塩基と中和に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	◎指導事項 ・酸と塩基 ・水素イオン濃度とpH ・中和反応と塩の生成 ◎教材 ・新編化学基礎 ・サイエンスビュー新化学資料 ・リードLightノート化学基礎 ◎主な観察・実験・考察学習 ・pHに関する実験 ・中和滴定に関する実験	【知識及び技能】 酸・塩基と中和についての実験などを通して、基本的な概念や原理・原則に関して理解しているとともに、科学的探究に必要な実験操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 酸・塩基と中和についての課題を見い出し、目的をもって実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 酸・塩基と中和について主体的に関わり、見通しをもち、振り返るなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
	G 酸化還元反応 【知識及び技能】 実験などを通して、酸化還元反応に関して理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 酸化還元反応についての課題を見い出し、目的をもって観察・実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 酸化還元反応に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	◎指導事項 ・酸化と還元 ・酸化剤と還元剤 ・金属の酸化還元反応 ・酸化還元反応の応用 ◎教材 ・新編化学基礎 ・サイエンスビュー化学総合資料 ・リードLightノート化学基礎 ◎主な観察・実験・考察学習 ・酸化還元滴定に関する実験	【知識及び技能】 化学反応についての実験などを通して、酸化還元反応の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 酸化還元反応についての課題を見い出し、目的をもって実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 酸化還元反応について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教 科： 理科 科 目： 生物基礎 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年
使用教科書：（ 啓林館 i 版 生物基礎 ）

教科 理科 の目標：
【知識及び技能】 身の周りの自然やそこで生じる現象について理解を深め、科学的に探求するために必要な知識や技能を身につけること。
【思考力、判断力、表現力等】 観察や実験を通し、科学的に探求し共有するために必要な力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 身の周りの自然やそこで生じる現象について理解を深め、自ら疑問をもって探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標： 身の周りの生物、生物現象に関わりながら科学的な考え方、探究活動を行う力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
身の周りの自然やそこで生じる現象について理解を深め、科学的に探求するために必要な知識や技能を身につけるようにする。	観察や実験を通し、科学的に探求し共有するために必要な力を養う。	身の周りの自然やそこで生じる現象について理解を深め、自ら疑問をもって探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	主	配当 時数
前期	第1章 生物の特徴 【知識及び技能】 さまざまな生物の特徴から、多様でありつつも共通の特徴をもっていることを理解し、観察実験に必要な技術を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 生物としての共通の特徴から、単一の共通先祖から派生した理由を観察・実験や考察学習を通して考え、表現している。 【主体的に学ぶ態度】 生物や生物に関する現象について主体的に関わり、自ら疑問をもって探求しようとしている。	・指導事項 1 生物の多様性 2 生物の共通性 3 生物の進化と系統 4 細胞と個体の成り立ち 5 真核細胞の構造 6 原核細胞の構造 7 生命活動とエネルギー 8 ATPとエネルギー 9 生体内の化学反応と酵素 10 光合成と呼吸 ・教材 教科書・資料集・問題集等 ・一人一台端末利用 ・実験観察	【知識及び技能】 さまざまな生物の特徴から、多様でありつつも共通の特徴をもっていることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生物としての共通の特徴から、単一の共通先祖から派生した理由を観察・実験や考察学習を通して考え、表現している。 【主体的に学ぶ態度】 生物や生物に関する現象について主体的に関わり、自ら疑問をもって探求しようとする態度を身につけている。	○	○	○	12
	定期考查			○	○		1
	第2章 遺伝子とそのはたらき 【知識及び技能】 遺伝情報が塩基配列として存在し、転写、翻訳を経てタンパク質が合成される過程と、細胞分裂における細胞周期について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 生物が共通してもつDNAの働きや遺伝情報の複製方法、細胞分裂について観察・実験や考察学習を通して考え、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝子とその働きに関して自ら疑問をもって探究しようとする態度を養う。	・指導事項 11 生物と遺伝情報 12 DNAの構造と遺伝情報 13 DNA複製 14 DNAと染色体 15 細胞周期とDNAの分配 16 細胞周期とDNA量の変化 17 遺伝子 18 転写と翻訳 19 遺伝暗号表 20 遺伝子発現と維持 ・教材 教科書・資料集・問題集等 ・一人一台端末利用 ・実験観察	【知識及び技能】 遺伝情報が塩基配列として存在し、転写、翻訳を経てタンパク質が合成される過程と、細胞分裂における細胞周期について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生物が共通してもつDNAの働きや遺伝情報の複製方法、細胞分裂について観察・実験や考察学習を通して考え、表現している。 【主体的に学ぶ態度】 遺伝子とその働きに関して自ら疑問をもって探究しようとしている。	○	○	○	16
	定期考查			○	○		1
後期	第3章 神経系と内分泌系による調節 【知識及び技能】 体内環境を一定に保つ多様な仕組みについて、神経系による制御と内分泌系による制御それぞれの特徴と例を理解すること 【思考力、判断力、表現力等】 体内環境を一定に保つ多様な仕組みについて、観察・実験や考察学習を通して考え、表現すること 【学びに向かう力、人間性等】 体内環境を一定に保つ神経系や内分泌系の働きについて、自ら疑問をもって探究しようとする態度を養うこと	・指導事項 21 恒常性と体液 22 血液凝固と線溶 23 恒常性に関わる神経系 24 自律神経と脳死 25 ホルモンによる調節 26 ホルモン分泌の調節 27 血糖濃度の変化と糖尿病 28 血糖濃度の調節の仕組み 29 体温と水分長の調節 ・教材 教科書・資料集・問題集等 ・一人一台端末利用 ・実験観察	【知識及び技能】 体内環境を一定に保つ多様な仕組みについて、神経系による制御と内分泌系による制御それぞれの特徴と例を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 体内環境を一定に保つ多様な仕組みについて、観察・実験や考察学習を通して考え、表現している。 【主体的に学ぶ態度】 体内環境を一定に保つ神経系や内分泌系の働きについて、自ら疑問をもって探究しようとしている。	○	○	○	14
	第4章 免疫 【知識及び技能】 生体防御の種類や、免疫の仕組み、身の周りで活用されているものについて理解すること 【思考力、判断力、表現力等】 生物の免疫の仕組みや身の周りで活用されている方法について、観察・実験や考察学習を通して考え、表現すること 【学びに向かう力、人間性等】 生物の免疫の仕組みや身の周りで活用されている方法について、自ら疑問をもって探究しようとする態度を養うこと	・指導事項 30 生体防御の概要 31 異物の侵入を阻止する仕組み 32 自然免疫の仕組み 33 獲得免疫の概要 34 細胞性免疫と体液性免疫 35 抗体とその利用 36 免疫記憶とその利用 37 免疫と病原① 38 免疫と病原② ・教材 教科書・資料集・問題集等 ・一人一台端末利用 ・実験観察	【知識及び技能】 生体防御の種類や、免疫の仕組み、身の周りで活用されているものについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の免疫の仕組みや身の周りで活用されている方法について、観察・実験や考察学習を通して考え、表現している。 【主体的に学ぶ態度】 生物の免疫の仕組みや身の周りで活用されている方法について、自ら疑問をもって探究しようとしている。	○	○	○	14

定期考査			○	○		1
第5章 植生と遷移 【知識及び技能】 周囲の環境による植生の違いや遷移に関する資料から、バイオームや遷移について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 周囲の環境に適応した植物の違いや遷移の過程について、観察・実験や考察学習を通して考え、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 周囲の環境に適応した植物の違いや遷移の過程について、自ら疑問をもって探究しようとする態度を養う。	・指導事項 39 環境と生物 40 光の強さと植物 41 森林の階層構造と土壌 42 遷移の過程 43 遷移に伴う環境の変化 44 遷移と世界のバイオーム 45 日本のバイオーム ・教材 教科書・資料集・問題集等 ・一人一台端末利用 ・実験観察	【知識及び技能】 周囲の環境による植生の違いや遷移に関する資料から、バイオームや遷移について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 周囲の環境に適応した植物の違いや遷移の過程について、観察・実験や考察学習を通して考え、表現している。 【主体的に学ぶ態度】 周囲の環境に適応した植物の違いや遷移の過程について、自ら疑問をもって探究しようとしている。				10
第6章 生態系とその保全 【知識及び技能】 生態系と生物の多様性に関して、さまざまな生物が複雑な関わりをもち生態系を構成していることについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 生態系の食物連鎖や、生物同士の複雑な関係性からなる生態系について、観察・実験や考察学習を通して考え、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生態系の食物連鎖や、生物同士の複雑な関係性からなる生態系について、自ら疑問をもって探究しようとする態度を養う。	・指導事項 46 生態系における生物の役割 47 種の多様性と食物連鎖 48 生態系と生態ピラミッド 49 キーストーン種と絶滅 50 生態系のバランスと変動 51 人間活動と生態系 52 生物濃縮 53 外来生物 54 生物多様性と生態系の保全 55 生態系の人間生活 ・教材 教科書・資料集・問題集等 ・一人一台端末利用 ・実験観察	【知識及び技能】 生態系と生物の多様性に関して、さまざまな生物が複雑な関わりをもち生態系を構成していることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生態系の食物連鎖や、生物同士の複雑な関係性からなる生態系について、観察・実験や考察学習を通して考え、表現している。 【主体的に学ぶ態度】 生態系の食物連鎖や、生物同士の複雑な関係性からなる生態系について、自ら疑問をもって探究しようとしている。	○	○	○	
定期考査			○	○		70

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： （ ステップアップ高校スポーツ 大修館書店 保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通じて、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A 球技（ハンドボール） 【知識及び技能】 技術の名称やルール、特徴を理解する。ゴールの両端に力強いシュートが打てるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分に合ったポジションを選ぶことができるようになる。ゲーム中における自己の課題と改善策を考えられるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ゲームの中で積極的にプレーに関わろうとする。安全に留意しながらゴールを運ぶことができるようになる。	【指導事項】 ・ルール講習 ・シュート練習 ・パス練習 ・スキルテスト ・ゲーム 【教材】 ・映像資料(ルール、特徴、ポジション等) ・学習レポート	【知識・技能】 技術の名称やルールを覚え、特徴を理解している。ゴールの両端に力強いシュートを打つことができる。 【思考・判断・表現】 自分に合ったポジションを選ぶことができる。ゲーム中における自己の課題と改善策を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ゲームの中で積極的にプレーに関わろうとしている。安全に留意しながらゴールを運ぶことができる。	○	○	○	18
	B 水泳 【知識及び技能】 クロール・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、速く泳ぐことができるようになる。クロール・平泳ぎの技術の名称や効果的に泳ぐためのポイントを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にすることができる。水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。	【指導事項】 ・水慣れ ・泳法練習(クロール、平泳ぎ) ・タイム計測(クロール、平泳ぎ) 【教材】 ・学習カード	【知識・技能】 クロール・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、速く泳ぐことができる。クロール・平泳ぎの技術の名称や効果的に泳ぐためのポイントを理解できている。 【思考・判断・表現】 泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを学習カードにまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にすることができる。水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。	○	○	○	16
	C 球技（バレーボール） 【知識及び技能】 試合の場面を想定して技術を取得する。個人技として、トス・パス・スパイク・サーブ ができるようになる。チームとして三段攻撃を意識できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を理解し、周りの人と話し合って解決策を見出す。ゲーム中の役割を理解し、目標達成の方法を見つける。 【学びに向かう力、人間性等】 チームワークを意識できる。他者の役割を理解し、自らの動きをコントロールする。また、感情もコントロールしていく。	【指導事項】 ・トス、パス、スパイク、サーブの個人スキル三段攻撃を意識したコンビネーションスキル ・個人スキルテスト ・ゲーム ・振り返りシート 【教材】 ・映像資料（イメージトレーニング）	【知識・技能】 個人技術の修得（アンダー・オーバーカット&トス）（アンダーサーブ） 【思考・判断・表現】 ゲームにおけるチーム内でのポジションの役割（コンビネーション）を理解し実践できる。 【学びに向かう力、人間性】 課題発見能力・課題解決能力を習得し実践できる。協調性（チームワーク）を意識した運動ができる。	○	○	○	18

後期	D 球技（サッカー） 【知識及び技能】 技術の名称や行い方、運動観察の方法などを理解するとともに、ゲームを展開することができるようにする。ゴール型では、安定したボール操作によってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。	【指導事項】 ・ボールフィーリング ・試合の再開方法 ・キックの種類 ・パス ・シュート ・試合 【教材】 ・学習カード ・タスクゲーム ・ホワイトボード ・実際のサッカーの試合の映像（ICT機器） ・ステップアップスポーツ	【知識・技能】 サッカーに用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例をあげている。 ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。 味方が操作しやすいパスを送ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な方法について、自己の考えを伝えることができる。 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組んでいる。 互いに練習相手になったり仲間に助言したりして互いに助け合おうとしている。 健康・安全を確保している。 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。	○	○	○	18
							合計
							70

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科

保健体育 科目 選択 体育

教科： 保健体育 科目： 選択 体育

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： （ ステップアップ高校スポーツ2022 ）

教科 保健体育 の目標： 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 選択 体育 の目標： 生涯にわたる豊かなスポーツライフを継続していくため様々な種目を理解し楽しめるようにする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
【剣道】 ① 剣道を学習することは、自国の文化に誇りを持つことや、国際社会で生きていくうえで有意義であることについて、言ったり、書き出したりしている。 ② 試合の行い方には、簡易な試合におけるルール、審判及び運営の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 ③ それぞれの技を身に付けるための技術的なポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ④ 相手の動きに応じて、中段に構えることができる。 ⑤ 相手の動きに応じて、歩み足や送り足ができる。 ⑥ 面や胴、小手の部位を打ったり受けたりする。基本打突ができる。 ⑦ 基本動作、対人技能で 身に付けた体さばきや打突を練習や試合で生かそうとしている。	【剣道】 ① 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ② 相手を尊重するなどの伝統的な行動をする場面で、よりよい所作について自己や仲間の活動を振り返っている。	【剣道】 ① 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ② 健康・安全を確保している。
【ダンス】 ① ダンスの特性について学習した具体例を挙げている。 ② 表現の仕方について学習した具体例を挙げている。 ③ リズムの特徴を捉え、リズムに乗って全身で踊るための動きができる。	【ダンス】 ① テーマに相応しい踊りを設定している。 ② 課題に応じた練習方法を選んでいる。 ③ 発表の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。 ④ 学習した安全上の留意点を仲間と学習する場面に当てはめている。	【ダンス】 ① ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。 ② お互いのよさを認め合おうとしている。 ③ 仲間の学習を援助しようとしている。 ④ 健康・安全に留意している。
【陸上】 ① 効果的なトレーニング理論を理解している。 ② 自分の体力を把握し、運動を実践できる。	【陸上】 ① 運動時の心拍数を把握し、目的に合った運動強度を決めることができる。 ② 目標に合わせたメニューを考えることができる。	【陸上】 ① 目標を明確に把握し、検証し、体を動かすことができる。 ② 他者と協力することができる。
【体づくり運動】 ① 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義や体の構造、運動の原則などについて言ったり書きだしたりしている。 ② 健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組んでいる。	【体づくり運動】 ① 手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合おうとしている。	【体づくり運動】 ① 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとするしている。 ② 一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	【ダンス】 オリエンテーション・8844221111のウォーミングアップ	【ダンス】 8844221111のリズムに乗ってダイナミックに動く。グループで8844221111の動きを創作する。	【ダンス】 【知識・技能】 リズムの特徴を捉え、リズムに乗って全身で踊るための動きができる。【行動の観察】【ノート】 【思考・判断・表現】 テーマに相応しい踊りを設定している。 【ワークシート】 【主体的に学習に取り組む態度】ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。 【行動の観察】【ワークシート】				
4 月	【剣道】 剣道の特性を理解する。	【剣道】 ○剣道について ① PPでの説明(競技特性、ルール、用具確認、注意事項) ○礼儀作法と所作 ・正座 座礼 立礼 構え方 収め方 ○道着の着装について ○基本動作 ① 足さばき(送り足 継ぎ足 すり足 歩み足) ② 三挙動(面 小手 胴)	【剣道】 【知識・技能】 剣道を学習することは、自国の文化に誇りを持つことや、国際社会で生きていくうえで有意義であることについて、言ったり、書き出したりしている。 【ワークシート】【発言の観察】 【思考・判断・表現】 相手を尊重するなどの伝統的な行動をする場面で、よりよい所作について自己や仲間の活動を振り返っている。【ワークシート】 【主体的に学習に取り組む態度】 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。【行動の観察】【ワークシート】	○	○	○	4

前期	5月	【陸上】 の動かし方を理解する(走・跳) ①体	【陸上】 ①心拍数の図り方②最大心拍数の求め方 ③目標心拍数の求め方	【陸上】 ①運動後の心拍数を自分で把握できる。 ②目的に合わせた強度の運動を探索できる。 ③ 目標に合わせた運動強度の運動を実践できる。 ④他者と協力できる。				
		【ダンス】 ①「走る一止まる」静と動の空気の変化を感じ、表現する。 ②「新聞紙」人流れを気持ちよく動く ③「伸びる一縮む」体の極限から極限を意識する。」	【ダンス】 ①「走る一止まる一走る一止まる一走る一止まる・止まる・止まる」のイメージでメリハリをつけて体を動かす。 ②「新聞紙」をいろいろなものに見立てて、ひと流れを気持ちよく動く。③「伸びる一縮む」のイメージを持って極限から極限まで体を動かす。	【ダンス】 【知識・技能】 ・ダンスの特性について学習した具体例を挙げている。【発言の観察】 ・表現の仕方について学習した具体例を挙げている。【行動の観察】 【思考・判断・表現】 ・テーマに相応しい踊りを設定している。 ・課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・発表の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。 ・学習した安全上の留意点を仲間と学習する場面に当てはめている。【行動の観察】【発言の観察】 【ノート】 【主体的に学習に取り組む態度】 ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。【行動の観察】	○	○	○	4
		【剣道】 基本技能を習得し理解する。	【剣道】 ○構え方 ① ICT機器で撮影し自身の構え方について ② 正面打ちについて ○素振り ① 正面打ち 前身後退面 前進後退 左右面 早素振り)	【剣道】 【知識・技能】 それぞれの技を身に付けるための技術的なポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。【ワークシート】 【思考・判断・表現】 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。【行動の観察】【ワークシート】 【主体的に学習に取り組む態度】 健康・安全を確保している。【ワークシート】				
		【陸上】 の動かし方を理解する(走・跳) ①体	【陸上】 ①心拍数の図り方②最大心拍数の求め方 ③目標心拍数の求め方	【陸上】 ①運動後の心拍数を自分で把握できる。 ②目的に合わせた強度の運動を探索できる。 ③ 目標に合わせた運動強度の運動を実践できる。 ④他者と協力できる。				
		【ダンス】 ①「集まる一とび散る」いろいろなものに見立てて、表現する。 ②「スポーツ名場面集」いろいろなスポーツの動きをイメージし、極限への挑戦の動きをする。	【ダンス】 ①「集まる一とび散る」のイメージをいろいろなものに見立てて、緊張と弛緩・脱力などを表現する。 ②いろいろなスポーツの名場面をイメージ、極限への挑戦を表現する。繰り返し、メリハリ、極限、ダイナミックなど、今まで学んだ要素を入れて創作する。	【ダンス】 【知識・技能】 ・ダンスの特性について学習した具体例を挙げている。【発言の観察】 ・表現の仕方について学習した具体例を挙げている。【行動の観察】 【思考・判断・表現】 ・テーマに相応しい踊りを設定している。 ・課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・発表の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。 ・学習した安全上の留意点を仲間と学習する場面に当てはめている。【行動の観察】【発言の観察】 【ノート】 【主体的に学習に取り組む態度】 ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。【行動の観察】	○	○	○	4
	6月	【剣道】 基本技稽古法を通じて礼法や剣道の基本的な技を習得し理解を深める。	【剣道】 ○剣道基本技稽古法 ① 1本目ー9本目 ○スキルテスト ①道着の着装 ① 素振り ② 基本技稽古法1本目から9本目	【剣道】 【知識・技能】 相手の動きに応じて、中段に構えることができる。【行動の観察】【テスト】 相手の動きに応じて、歩み足や送り足ができる。【テスト】 【思考・判断・表現】 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。【行動の観察】 【主体的に学習に取り組む態度】 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。【ワークシート】				
		【陸上】 の動かし方を理解する (走・跳・サーキットトレーニング) ①体	【陸上】 ①心拍数の図り方②最大心拍数の求め方 ③目標心拍数の求め方 ④運動強度の合わせ方実践。	【陸上】 ①運動後の心拍数を自分で把握できる。 ②目的に合わせた強度の運動を探索できる。 ③ 目標に合わせた運動強度の運動を実践できる。 ④他者と協力できる。				
	7月	定期考査			○	○		1

9月	【ダンス】 ・「神戸ダンスフェスティバル」VTR鑑賞を通して、トップレベルの創作ダンスを学ぶ。 ①「ディズニーの世界」をイメージし創作活動をする。	【ダンス】 ・神戸ダンスフェスティバルの作品を鑑賞する。 ①「ディズニーの世界」というイメージで、作品を創作する。グループで、自分たちのテーマを決める。	【ダンス】 【知識・技能】 ・ダンスの特性について学習した具体例を挙げている。【発言の観察】 ・表現の仕方について学習した具体例を挙げている。【行動の観察】 【思考・判断・表現】 ・テーマに相応しい踊りを設定している。 ・課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・発表の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。 ・学習した安全上の留意点を仲間と学習する場面に当てはめている。【行動の観察】【発言の観察】【ノート】 【主体的に学習に取り組む態度】 ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。【行動の観察】				
	【剣道】 日本剣道型を通じて刃筋や姿勢・打突の機会を理解する。	【剣道】 ○日本剣道型 ①1本目 ②2本目 ③3本目 ○スキルテスト	【剣道】 【知識・技能】 相手の動きに応じて、中段に構えることができる。【行動の観察】【テスト】 相手の動きに応じて、歩み足や送り足ができる。【テスト】 【思考・判断・表現】 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。【行動の観察】 【主体的に学習に取り組む態度】 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。【ワークシート】	○	○	○	4
	【陸上】 の動かし方を理解する(跳) ①体	【陸上】 ①立ち幅跳びの段階的なスキルアップ。	【陸上】 ①運動時における体の補助動作を理解することができる。 ②体の動きをコントロールできる。				
10月	【ダンス】 ・「ディズニーの世界」をイメージし創作活動をする。	【ダンス】 ・「ディズニーの世界」をテーマに作品練習(動き作り) ・「ディズニーの世界」をテーマに作品練習(構成・音の工夫)	【ダンス】 【知識・技能】 ・ダンスの特性について学習した具体例を挙げている。【発言の観察】 ・表現の仕方について学習した具体例を挙げている。【行動の観察】 【思考・判断・表現】 ・テーマに相応しい踊りを設定している。 ・課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・発表の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。 ・学習した安全上の留意点を仲間と学習する場面に当てはめている。【行動の観察】【発言の観察】【ノート】				
	【剣道】 相手の動きの変化に応じて体の移動や竹刀操作について理解する。	【剣道】 ○打ち込み ① 切り返しとその受け方 ② 面打ちとその受け方 ③ 小手打ちとその受け方 胴打ちとその受け方	【剣道】 【知識・技能】 面や胴、小手の部位を打ったり受けたりする。基本打突ができる。【行動の観察】 ④ 基本動作、対人技能で身に付けた体さばきや打突を練習や試合で生かそうとしている。【行動の観察】 【思考・判断・表現】 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。【行動の観察】【発言の観察】 【主体的に学習に取り組む態度】 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。【ワークシート】	○	○	○	4
	【陸上】 の動かし方を理解する(跳) ①体	【陸上】 ①立ち幅跳びの段階的なスキルアップ。	【陸上】 ①運動時における体の補助動作を理解することができる。 ②体の動きをコントロールできる。 ③記録に結びつく動作ができる。				

1 1 月	【ダンス】 ・「ディズニーの世界」をイメージし創作活動をする。	【ダンス】 ・「ディズニーの世界」のイメージでテーマに沿って作品練習(空間構成・動きの変化発展) ・「ディズニーの世界」をテーマに作品練習(踊り込み・細かい部分の徹底)	【ダンス】 【知識・技能】 ・ダンスの特性について学習した具体例を挙げている。【発言の観察】 ・表現の仕方について学習した具体例を挙げている。【行動の観察】 【思考・判断・表現】 ・テーマに相応しい踊りを設定している。 ・課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・発表の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。 ・学習した安全上の留意点を仲間と学習する場面に当てはめている。【行動の観察】【発言の観察】【ノート】 【主体的に学習に取り組む態度】 ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。【行動の観察】				
	【剣道】 相手に対しての距離を近くしたり遠くしたりして打つことができる。	【剣道】 ○二段の技 ① 小手一面の打ち方とその受け方 小手一腕の打ち方とその受け方	【剣道】 【知識・技能】 面や胴、小手の部位を打ったり受けたりする。基本打突ができる。【行動の観察】 基本動作、対人技能で身に付けた体さばきや打突を練習や試合で生かそうとしている。【行動の観察】 【思考・判断・表現】 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。【行動の観察】【発言の観察】 【主体的に学習に取り組む態度】 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。【ワークシート】				
	【陸上】 の動かし方を理解する(投) ①体	【陸上】 ①投てきの段階的なスキルアップ。	【陸上】 ①運動時における体の補助動作を理解することができる。 ②体の動きをコントロールできる。				
1 2 月	【ダンス】 ①発表会をする ②他のクラスの発表会作品鑑賞をする。 ・1年間のまとめ	【ダンス】 ①発表会・VTR撮影 ②他のクラスの発表会作品を鑑賞する。 ・1年間のまとめをする	【ダンス】 【知識・技能】 ・ダンスの特性について学習した具体例を挙げている。【発言の観察】 ・表現の仕方について学習した具体例を挙げている。【行動の観察】 【思考・判断・表現】 ・テーマに相応しい踊りを設定している。 ・課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・発表の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。 ・学習した安全上の留意点を仲間と学習する場面に当てはめている。【行動の観察】【発言の観察】【ノート】 【主体的に学習に取り組む態度】 ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。【行動の観察】				
	【剣道】 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を身に付ける。	【剣道】 ○簡単な技練習 ① 引き技 出ばな技 応じ技 ○簡単な試合 ○スキルテスト ・大きい面打ち ・繰り返し	【剣道】 【知識・技能】 試合の行い方には、簡易な試合におけるルール、審判及び運営の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。【行動の観察】【ワークシート】 【思考・判断・表現】 相手を尊重するなどの伝統的な行動をする場面で、よりよい所作について自己や仲間の活動を振り返っている。【発言の観察】 【主体的に学習に取り組む態度】 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。				
	【陸上】 ①体の動かし方を理解する(投)	【陸上】 ①投てきの段階的なスキルアップ。	【陸上】 ①運動時における体の補助動作を理解することができる。 ②体の動きをコントロールできる。 ③記録に結びつく動作ができる。				

1 月	【体づくり運動】 健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。	【体づくり運動】 持久力を高める運動として、男子6キロ、女子4キロの持久走を行う。	【体づくり運動】 【知識・技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義や体の構造、運動の原則などについて言ったり書きだしたりしている。【発言の観察】 【行動の観察】 健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組んでいる。【ワークシート】 【思考・判断・表現】 手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合おうとしている。【行動の観察】 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとするしている。【行動の観察】 一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。【ワークシート】	○	○	○	4
2 月				○	○	○	4
3月	定期考査			○	○		
							合計
							35

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 現代高等 保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標： 各ライフステージにおける健康課題に対して予防・解決方法の知識を習得し、実践する能力を育成

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A 現代社会と健康 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	【指導事項】 ・健康の考え方 ・生活習慣病などの予防と回復 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 【教材】 ・パワーポイント資料 ・映像資料 ・学習プリント	【知識・技能】 個人及び社会生活における健康について理解を深めることができています。 【思考・判断・表現】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力が身に付いている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が身に付いている。	○	○	○	15
	A 現代社会と健康 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	【指導事項】 ・精神疾患の予防と回復 ・現代の感染症とその予防 【教材】 ・パワーポイント資料 ・映像資料 ・学習プリント	【知識・技能】 個人及び社会生活における健康について理解を深めることができています。 【思考・判断・表現】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力が身に付いている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が身に付いている。	○	○	○	10
後期	A 現代社会と健康 【知識及び技能】 個人及び社会生活における安全について理解を深める。また、心肺蘇生法を含む応急手当の技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	【指導事項】 ・安全な社会づくり ・応急手当 【教材】 ・パワーポイント資料 ・映像資料 ・学習プリント	【知識・技能】 個人及び社会生活における安全について理解を深めることができています。 【思考・判断・表現】 安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が身に付いている。	○	○	○	10
	合計						35

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ	
教 科： 芸術	科 目： 音楽Ⅰ
対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組	単位数： 2 単位
使用教科書：（ 教育芸術社「MOUSA 1」、教育芸術社「The Basics of Music」 ）	
教科 芸術	の目標： 芸術の幅広い活動を通して、音楽における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅰ

の目標： 音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成するをとおを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	題材「校歌」 【知識及び技能】 歌唱表現に関する基本的な知識、技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に歌唱活動に取り組む。	・指導事項 A表現 (1) 歌唱アイ(ア)ウ(エ) ・教材 楽譜、ピアノ	○				・歌詞を理解し、覚えようとしているか。 ・曲種にふさわしい発声ができているか。 ・自分なりに音楽を表現しようとしているか。 ・楽譜に忠実に歌唱しているか。 ・主体的に歌唱表現に取り組めているか。	○			8
	単元「音楽鑑賞の仕方」 【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や演奏に対する評価とその根拠、自分や社会にとっての音楽の意味を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に鑑賞活動に取り組もうとしている。	・指導事項 B鑑賞 (1) 鑑賞ア(ア)(イ)(ウ)(エ) ・教材 「MOUSA 1」、DVD、CD、ピアノ、一人一台端末、ICT機器				○	・楽曲の「音楽を形づくっている要素」を知覚し、感受したことから関わらせて音楽の価値について述べるができるか。 ・楽曲の背景や歌詞の意味などと音楽の関わりについて自分なりに意見を持つことができるか。	○	○	○	10
	単元「キーボード演奏」 【知識及び技能】 曲にふさわしい双方、体の使い方を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己のイメージを持って器楽表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に器楽表現に取り組んでいる。	・指導事項 A表現 (2) 器楽アイ(イ)(ウ)(エ)(オ) ・教材 「MOUSA 1」、楽譜、ピアノ、キーボード、ICT機器		○			・鍵盤楽器の基本的な奏法を理解し、演奏することができるか。 ・楽譜を読んで鍵盤楽器で演奏することができるか。 ・二声以上のパートを独奏することができるか。 ・リズムを理解して演奏することができるか。	○		○	10
2 学 期	題材「イタリア古典歌曲」 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景とのかかわりについて理解する。曲種にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方などの技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己のイメージに近づくために自分なりに創意工夫して歌唱表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に歌唱活動に取り組んでいる。	・指導事項 A表現 (1) 歌唱アイ(ア)(イ)(ウ)(エ) ・教材 「MOUSA1」、ピアノ、CD	○				・イタリア語の発音を活かして歌唱表現することができるか。 ・自己のイメージをもって歌唱表現することができるか。 ・主体的に音楽を運んでピアノとともに表現しようとしているか。 ・良い発声で伸びやかに歌唱することができるか。	○	○	○	8
	題材「ヴォイスアンサンブルに挑戦しよう。」 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解し、その成果を技能として発揮すること。 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識や技能を自分なりに表現する。自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱活動に取り組む。	・指導事項 A表現 (1) 歌唱アイ(イ)(ウ)(エ)(オ) ・教材 「MOUSA1」、ピアノ、CD、一人一台端末、ICT機器	○				・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解できているか。 ・曲種にふさわしい発声・言葉の発音・身体の使い方を身に付け、表現形態の特徴を活かして歌唱しているか。 ・得た知識や技能を自分なりに表現できているか。 ・自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫できているか。 ・主体的・協働的に歌唱活動に取り組んでいるか。	○		○	8
	題材「自由に伝えよう」 【知識及び技能】 今までに学んだ音楽の知識を生かし、音楽を創作できる。 【思考力、判断力、表現力等】 音の特徴及び音楽の特徴を自身のイメージする音楽に向けて創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に創作活動に取り組むことができる。	・指導事項 A表現 (3) 創作アイウ(ア)(イ)(ウ) ・教材 「MOUSA 1」、「The Basics of Music」、楽譜、ギター、一人一台端末、ICT機器			○		・創作する音楽について、自分なりのイメージを持って創作活動に取り組んでいるか。 ・音楽素材・音を連なり、音階や音程などの特徴について、表したいイメージと関わらせて創作できているか。 ・自身が工夫した点について、言語表現できているか。			○	○

題材「クラシックギター」 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解し、正しいギターの奏法や身体の使い方を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己のイメージを持って器楽表現を創意工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に器楽表現に取り組もうとしている。	・指導事項 A表現 (2) 器楽アイ(イ)(イ)ウ(ウ)(ウ) ・教材 「MOUSA 1」、「The Basics of Music」、プリント、楽譜、ピアノ、ICT機器	○	・クラシックギターについて興味関心を持ち、楽器の音色や特徴を理解し味わおうとしているか。 ・クラシックギターの基本的な奏法を理解し、演奏することができるか。 ・奏法の違いによる音色や効果を理解し、弾き分けることができるか。 ・二声を独奏することができるか。 ・コードを用いて演奏することができるか。 ・他者と音楽を共有し合奏をたのしむことができるか。	○	○	10
題材「曲種に応じた発声」 【知識及び技能】 様々な曲種に応じた歌唱法について理解し、そのうちの1つ以上について発声、言葉の発音、身体の使い方について身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲について自己のイメージを持ち歌唱表現を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱表現に取り組むことができる。	・指導事項 A表現 (1) 歌唱アイ(イ)(イ)ウ(ウ)(ウ) ・教材 「MOUSA 1」、ピアノ、一人一台端末、ICT機器	○	・様々な歌唱法について理解することができるか。 ・自己のイメージしたことを表現することができるか。 ・他のパートとのハーモニーを聴きながら歌唱することができるか。 ・各パートの役割を理解して歌唱することができるか。 ・歌唱表現について、他者と協働的に取り組もうとしているか。	○	○	8 合計 70

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

单位数：2 单位

使用教科書：（日本文教出版 高校美術）

芸術の幅広い活動を通して、各科目における味方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅰ の目標：

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもち美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようになる。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

[illegible]

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教科：芸術 科目：書道Ⅰ 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～4組

使用教科書：光村図書 書Ⅰ（ ）

教科 芸術 の目標：芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊に関わる資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ の目標：書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
前期	<巻頭> ・書道の三分野と、臨書・鑑賞・創作の学習方法を理解する。 ・小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを確認する。 ・芸術科書道への関心・意欲を高め、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。 <漢字の書・はじめに> ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について	書道で学習すること 書写から書道へ ・指導事項 A（表現）B（鑑賞）全て 共通ア・イ 漢字の変遷とさまざまな書体 ・指導事項 Bア（ア）イ（イ）（ウ） 共通ア・イ	○	○	○	○	・書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 ・芸術科書道の学習に関心をもち、書道で学習することや、小・中学校の国語科書写で学習した内容に関心をもち、主体的に取り組んでいこうとする態度を養っている。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解している。 ・漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 ・主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○		○	8
	<漢字の書・楷書> ・楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 ・楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	唐の四大家に学ぶ楷書の基本 『孔子廟堂碑』 『九成宮醴泉銘』 『雁塔聖教序』 『顔氏家廟碑』 『牛橛造像記』 半紙作品制作 半切1/4作品制作 表装について ・指導事項 A② ア（ア）イ（イ）ウ（ア）（イ） Bア（ア）（イ）イ（ア）（イ）（エ） 共通ア・イ				○	・古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○		○	14
	<漢字の書・創作する> ・漢字の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につける。 ・漢字の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	古典を生かした創作 作品の構想 書風・用具用材・全体構成 半紙作品制作 色紙作品制作 鑑賞会 ・指導事項 A② 全て Bア（ア）（イ）イ（ア）（イ）（エ） 共通ア・イ		○		○	・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、古典に特有の字形や線質の特徴を理解している。 ・漢字の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。 ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・鑑賞会を通し、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	<漢字の書・行書> ・行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 ・行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	『蘭亭序』 『風信帖』 三筆・三蹟の書 ・指導事項 A② ア（ア）イ（イ）ウ（ア）（イ） Bア（ア）（イ） イ（ア）（イ）（ウ）（エ） 共通ア・イ		○		○	・古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12

高等学校 令和 6 年度（1 学年用）教科 芸術 科目 工芸 I

单位数： 2 单位

使用教科書：（日本文教出版 工業 I

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心構を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 **工芸 I の目標** ・ 工芸の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり工芸を愛好する心情と生活を心豊かにするために工夫する態度を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、工芸の伝統と文化についての理解を深める。

[illegible]

の目標：

【知 識 及 び 技 能】	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りをとおして必要な情報を得たりすることができる。また、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を、文章を書いて伝えたり、話して伝えることができる。 <u>読解・作文・リスニングにより文法・イディオムなどの知識を増やす。</u>	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。<u>英語の感覚や英語で思考する力を高める。</u> スピーチやプレゼンテーションなどの活動をおして、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え	自分が話したいと思っている内容が対話している相手に伝わるように、積極的に対話を続けようすることができる。 相手の話す内容や質問に対しても、きちんと耳を傾け、適切な相槌をうちながら、正確に伝わるまで根気よく答えたり、聞き返したりすることができる。 クラスメートに基本的な情報を整理し、まとまりのある内容をわかりやすい英語で表現し、前向きに根気よく話そうとすることができる。基本的な情報を整理し、英語表現をわかりやすくしようと努めながら、まとまりのあるパラグラフを根気よく書こうとしている。<u>英語で考える力を磨く。</u>

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価の観点・方法	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 「や 」	話 「発 」	書					
導入	英語コミュニケーションⅠの進捗、授業内容、提出物の説明。						提出物や範囲・日程、評価方法などについて理解している。			○	1
L1 Share Your World 【知識及び技能】現在・過去・未来、現在進行形・現在完了会、命令形を表す文を理解している。SNSのメリットやデメリットについて紹介する技能を身につけている。自分の考えを整理し、側注・脚注の語彙を用いて意見交換することができる。 【思考力、判断力、表現力等】現在・過去・未来、現在進行形・現在完了会、命令形を表す文を用いて、SNSのメリットやデメリットについて、聞いたり読んだりしたことを活用し、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】現在・過去・未来、現在進行形・現在完了会、命令形を表す文を用いて、SNSのメリットやデメリットについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	・SNSのメリットやデメリット ・新出語句 ・文法：過去形・現在形・未来を表す表現／現在完了／現在進行形／命令文 ・自分の意見を話す／書く	○	○	○	○	○	過去形・現在形・未来を表す表現／ 現在完了／現在進行形／命令文 を表す表現を用いて質問や説明ができている：活動の観察 ノート ハンドアウト パフォーマンステスト（スピーチ、プレゼンテーション）	○	○	○	12
L2 I Was Drinking Chocolate! 【知識及び技能】SVCとSV0の文型、不定詞、動名詞を表す文とチョコレート歴史を理解している。SVCとSV0の文型、不定詞、動名詞の理解をもとに、チョコレートの歴史を伝える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】チョコレートの歴史について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】チョコレートの歴史について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	・チョコレートの歴史 ・新出語句 ・文法：SVCとSV0の文型、不定詞、動名詞 ・自分の意見を話す／書く	○	○	○	○	○	SVCとSV0の文型、不定詞、動名詞を表す表現を用いて質問や推測ができている：活動の観察 ノート ハンドアウト パフォーマンステスト（スピーチ、プレゼンテーション）	○	○	○	5

[illegible]

L7 Should Stores Stay Open for 24 Hours? 【知識及び技能】文法：SVOC=V、SVOC=toV、SVOC=Vingを理解している。SVOC=V、SVOC=toV、SVOC=Vingを使った文の理解をもとに、24時間営業店舗のメリット・デメリットや歴史について紹介する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】24時間営業店舗のメリット・デメリットや歴史について、情報を集め、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】24時間営業店舗のメリット・デメリットや歴史についてクラスで紹介するために、いろいろな説明の方法を考えながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	・24時間営業店舗のメリット・デメリットや歴史 ・新出語句 ・文法：SVOC=V、SVOC=toV、SVOC=Ving ・意見を話す／書く	○	○	○	○	○	SVOC=V、SVOC=toV、SVOC=Vingを用いて質問や推測ができている：活動の観察 ノート ハンドアウト パフォーマンステスト（スピーチ、プレゼンテーション）	○	○	○	7
L8 Our Future with Artificial Intelligence 【知識及び技能】関係副詞howとwhy、関係代名詞what、強調構文It is X that...を使った文を理解している。関係副詞howとwhy、関係代名詞what、強調構文It is X that...を使った文の理解をもとに、AIの特徴や活用事例について紹介する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】AIの特徴や活用事例について、自分の考えや情報を聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】AIの特徴や活用事例をクラスで発表するために、自分たちの考えや情報を積極的に伝えようとしている。	・AIの特徴や活用事例 ・新出語句 ・文法：関係副詞howとwhy、関係代名詞what、強調構文It is X that... ・意見を話す／書く	○	○	○	○	○	関係副詞howとwhy、関係代名詞what、強調構文It is X that...を用いて質問や推測ができている：活動の観察 ノート ハンドアウト パフォーマンステスト（スピーチ、プレゼンテーション）	○	○	○	7
後期中間定期考査											1
L9 Stop Microplastic Pollution! 【知識及び技能】つなぎ表現、分詞構文、間接疑問文、現在完了進行形have been Vingを使った文を理解している。つなぎ表現、分詞構文、間接疑問文、現在完了進行形have been Vingを使った文の理解をもとに、海洋プラスチック汚染について、その魅力が伝わるように説明する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】海洋プラスチック汚染について、その魅力が伝わるように、聞き手にわかりやすく説明している。 【学びに向かう力、人間性等】海洋プラスチック汚染について、その魅力が伝わるように、聞き手に積極的に説明しようとしている。	・海洋プラスチック汚染 ・新出語句 ・文法：つなぎ表現、分詞構文、間接疑問文、現在完了進行形have been Ving ・意見を話す／書く	○	○	○	○	○	つなぎ表現、分詞構文、間接疑問文、現在完了進行形have been Vingを用いて質問や推測ができている：活動の観察 ノート ハンドアウト パフォーマンステスト（スピーチ、プレゼンテーション）	○	○	○	7
後期期末定期考査											1

時間合計	70
------	----

[illegible]

[illegible]

後期	L7 Japanese Bentos Are Cool! 【知識及び技能】 同等比較、倍数比較を使った文を理解している。 同等比較、倍数比較を使った文の理解をもとに、食品ロスを減らす方法について、グラフの情報とあわせて発表する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 食品ロスを減らす方法について、留学生に理解されるように、いろいろなデータや情報を使いながら、聞き手にわかりやすく伝えている。 意欲 食品ロスを減らす方法について、留学生に理解されるように、いろいろなデータや情報を使いながら、聞き手に積極的に伝えようとしている。	食品ロスを減らす方法について、自分の考えをまとめて発表させる活動を通して話すこと（やりとり）、話すこと(発表)、書くことの三つの領域における資質能力を一体的に高める。	○	○	○	○	○	接続詞を表す表現を用いて質問や説明ができています：活動の観察 ノート ハンドアウト	○	○	○	7
	L8 Everyday Technology 【知識及び技能】 動名詞、to不定詞①（名詞的用法）を使った文を理解している。 動名詞、to不定詞①（名詞的用法）を使った文の理解をもとに、災害への備えや発生時に必要なことについて紹介する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 災害への備えや発生時に必要な事柄について、インターネット等で情報を集めながら、自分たちの考えをまとめ、それを聞き手にわかりやすく伝えている。 意欲 災害への備えや発生時に必要な事柄について、インターネット等で情報を集めながら、自分たちの考えをまとめ、それを聞き手に積極的に伝えようとしている。	災害への備えや発生時に必要なことについてチラシを作成させる活動を通して話すこと（やりとり）、話すこと(発表)、書くことの三つの領域における資質能力を一体的に高める。	○	○	○	○	○	比較を表す表現を用いて質問や説明ができています：活動の観察 ノート ハンドアウト	○	○	○	7
	後期中間定期考査											1
	L9 Useful Ads on the Internet 【知識及び技能】 to不定詞の形容詞的用法と副詞的用法を使った文を理解している。 to不定詞の形容詞的用法と副詞的用法を使った文の理解をもとに、留学先に持っていきたいおみやげについて紹介する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 留学先に持っていきたいおみやげについてクラスで紹介するために、いろいろな説明の方法を考えながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 留学先に持っていきたいおみやげについてクラスで紹介するために、いろいろな説明の方法を考えながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	災害への備えや発生時に必要なことについてチラシを作成させる活動を通して話すこと（やりとり）、話すこと(発表)、書くことの三つの領域における資質能力を一体的に高める。	○	○	○	○	○	仮定法を表す表現を用いて質問や説明ができています：活動の観察 ノート ハンドアウト	○	○	○	7
	L10 Who's the Girl Walking with You? 【知識及び技能】 分詞を使った文を理解している。 分詞を使った文の理解をもとに、身の回りで起こったことについて、順序立てて説明する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 身の回りで起こったことについて、順序立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りで起こったことについて、順序立てて伝えようとしている。	身の回りで起こったことについて、順序立てて説明させる活動を通して話すこと（やりとり）、話すこと(発表)、書くことの三つの領域における資質能力を一体的に高める。	○	○	○	○	○	倒置を表す表現を用いて質問や説明ができています：活動の観察 ノート ハンドアウト	○	○	○	7
	後期中間定期考査											1
時間合計										70		

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教科：情報 科目：情報Ⅰ 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

使用教科書：（実教出版 最新情報Ⅰ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任および情報モラルにつ

【思考力、判断力、表現力等】情報に関する法規や制度、マナーの意義、情報社会において個人のはたす役割や責任、情報モラルなどに

【学びに向かう力、人間性等】情報社会における問題の発見、解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付ける。

科目 情報Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報や情報メディアの特性を理解している。 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任および、情報モラルについて理解している。	目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようと考えている。 情報に関する法規や制度およびマナーの意義、情報社会において個人のはたす役割や責任を、それらの背景を科学的にとらえ、考察してい	情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。 自己調整しながら、解決する過程や解決案をみずから評価し、改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A 情報とメディア 【知識及び技能】 何気なく使っている言葉である「情報」や「メディア」とは何かを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、問題を解決する方法を習得させる。 【学びに向かう力、人間性等】 「情報」がもつ意味やはたらきに興味を抱かせ、適切に情報を扱うことに意欲を持たせる。	- 情報とは何か - 情報源と情報の検証 - 情報技術の発展の光と影 - 情報技術の適切な活用 - 情報とメディアの特性 - 問題解決のプロセス	【知識・技能】 「情報」がもつ意味やはたらきについて理解している。 【思考・判断・表現】 情報の価値や信頼性、情報を検証する方法について考え、判断し、その結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 「情報」がもつ意味やはたらきについて関心をもっている。 情報を適切に表現するための表現形式について関心をもっている。	○	○	○	8
	B 情報社会における法とセキュリティ 【知識及び技能】 情報社会でよりよく生きるために、情報モラルにもとづいた行動や、定められている法規・制度について理解させる。 個人情報やプライバシーの保護・活用に関連する法律の意義や目的、内容について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会を支える法規や知的財産権の必要性に気づかせ、関心を持たせる。 情報セキュリティに対する意識を高める。	- 情報社会と法規・制度 - 個人情報の適正な利活用と保護 - 知的財産権 - 情報セキュリティ - 情報セキュリティ対策のための技術 - 情報セキュリティ対策への意識 - 情報セキュリティ対策に関するプレゼンテーション	【知識・技能】 情報社会を支える法規・制度について理解している。 ユーザ認証やアクセス制御など、情報セキュリティを確保するために必要な知識を身に付けている。 架空請求などの被害にあわないよう、適切にインターネットを利用することができる。 【思考・判断・表現】 法を遵守した判断や情報モラルに配慮した適切な判断ができる。 セキュリティを脅かす問題に対する適切な対応について考え、判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会を支える法規・制度について意欲的に学ぼうとしている。 セキュリティを脅かす問題について関心をもっている。	○	○	○	8
	C 情報デザイン 【知識及び技能】 情報デザインについて、情報を抽象化・構造化・可視化する方法を習得し、情報を伝える目的や受け手の状況をふまえた適切な表現方法を選択できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考える力を育む。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータを活用した情報表現に関心を抱かせ、わかりやすく相手に情報を表現しようとする姿勢を育む。	- コンピュータの基本的な操作 - 文書作成の基礎 - 情報を表現する方法	【知識・技能】 情報を適切な方法でわかりやすく表現することができる。 【思考・判断・表現】 コミュニケーションの目的や受け手の状況に応じて、情報をどのように活用・表現すればよいか考え、その結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータを活用して情報を受け手にわかりやすく表現することに関心をもち、積極的に工夫している。	○	○	○	6
	D プレゼンテーション 【知識及び技能】 コミュニケーション手段の1つとして用いられているプレゼンテーションについて、その基本、重要性、手法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や対象者に応じてプレゼンテーションの内容を考えることができる力を育む。また、他者のプレゼンテーションを効果的に評価する方法を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 プレゼンテーションの対象者に自分の考えが伝わりやすくするため、積極的に工夫をする姿勢を育む。	- プレゼンテーションとは - プレゼンテーションの流れと注意点 - 相互評価について	【知識・技能】 プレゼンテーションとは何かを理解している。 プレゼンテーションの実施や資料作成のための知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 プレゼンテーションの目的や対象者をふまえて、効果的なプレゼンテーションとなるよう考えている。 相互評価において、妥当な評価ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 効果的な資料作成や発表に関心をもち、積極的に工夫している。 他者の発表を聞き、自身の発表に生かそうとしている。	○	○	○	6
	E コンピュータのしくみ 【知識及び技能】 コンピュータの基本的な構成を理解させる。 OSやアプリケーションプログラムのちがいのなど、ソフトウェアの基本的な内容を理科させる。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータの本体や周辺装置やコンピュータのしくみに興味を抱かせる。	- コンピュータの構成 - コンピュータのソフトウェア	【知識・技能】 コンピュータの基本的な構成について理解し、基本的な操作ができる技能を身に付けている。 OSの役割やアプリケーションプログラムとのちがいについて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータの本体や周辺装置に関心をもち、積極的に活用しようとしている。	○	○	○	6

後期	A 情報のデジタル表現 【知識及び技能】 情報のデジタル化の基礎的な知識として、アナログとデジタルのちがいとデジタル情報の特徴を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 デジタル情報の特徴や利点を踏まえ、限られた条件下で情報を表現する力を育む。 【学びに向かう力、人間性等】 デジタル情報が社会においてどのように活用されているかについて興味	・ アナログとデジタル ・ デジタル情報の表現 ・ 文字のデジタル表現 ・ 音のデジタル表現 ・ 画像のデジタル表現 ・ 動画のデジタル表現 ・ データの圧縮	【知識・技能】 アナログ情報とデジタル情報のちがいについて理解している。 デジタル情報の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 デジタル情報の特徴や利点について考え、その結果を適切に表現している。 限られたビット数で数値を表現する方法について考え、その結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 デジタル情報がどのように表されるかにつ					8
	B プログラミング 【知識及び技能】 問題の解法をアルゴリズムを用いて表現する方法を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決にコンピュータを積極的に活用し、自ら結果を振り返って改	・ アルゴリズム ・ プログラミング言語とは ・ プログラミングの方法	【知識・技能】 問題解決の手順・解法をアルゴリズムを用いて表現する方法を理解している。 アルゴリズムをフローチャートやアクティビティ図を用いて表現する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 アルゴリズムを適切なプログラミング言語と適切な記述で表現している。 プログラムの不具合に対して適切な処理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 プログラミング言語について関心をもって意図しない結果が得られたときに、計算の					8
	C ネットワークのしくみ 【知識及び技能】 情報通信ネットワークの基本的な方式やプロトコルについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 LANやインターネットなどのコンピュータによる通信としに影響について考える力を育む。 【学びに向かう力、人間性等】 情報通信ネットワーク上の仕組み	・ コンピュータネットワーク ・ 通信プロトコル ・ パケット通信 ・ 通信の信頼性 ・ IPアドレスとドメイン名 ・ WWWのしくみとURL ・ 電子メールの送受信のしくみ ・ 情報の暗号化	【知識・技能】 LAN, WAN, インターネットの構造、モバイル通信などに関する知識を身に付けている。 プロトコルの必要性や、インターネットのプロトコルは階層に分けて構成されていることについて理解している。 【思考・判断・表現】 LANやインターネットなどのコンピュータによる通信とその影響について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報通信ネットワーク上で通信するための					6
	D データベース 【知識及び技能】 データベースの概念を理解させ、データベース管理システムの機能やデータの損失を防ぐしくみについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 データベースのはたらきや必要性について考え、結果を分析し、表現できる力を育む。 【学びに向かう力、人間性等】 データベースの有用性を理解し、データベースの仕組みや活用できる場面について興味を抱かせる。	・ データベース ・ ささまざまな情報システム	【知識・技能】 データベースの特徴や機能について理解している。 データベース管理システムの機能や、データの損失を防ぐしくみについて理解している。 【思考・判断・表現】 データベースのはたらきや必要性について考察し、その結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 データベースを利用して情報を蓄積・管理することで、どのようなことが可能になるのかに関心をもっている。					6
	E データの分析 【知識及び技能】 データを分析する前に必要となる、データの形式に関する知識やデータの収集方法、データの種類のについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 データの形式を適切に判断し、目的に応じてデータを使い分ける力を育む。 【学びに向かう力、人間性等】 データの収集方法に興味を抱かせ、多角的な視点からデータを収集・精査する姿勢を育む。	・ データのさまざまな形式 ・ データの収集方法 ・ データの種類と尺度水準 ・ データの分析 ・ テキストマイニング	【知識・技能】 データを分析する前に必要な知識である、データのさまざまな形式について理解している。 【思考・判断・表現】 データの形式を適切に判断できる。 性質や目的によってデータの形式を使い分けられることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 データの収集方法について関心をもっている。 データを多面的に精査しようとしている。					6
	合計							70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 総合 科目 産業社会と人間

教科：総合 科目：産業社会と人間 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：

使用教科書：（FACE・自校作成教材）

教科 総合 の目標：

- 【知識及び技能】キャリア形成に必要な知識及び技能を身につけ、探究の意義や価値を理解すること。
- 【思考力、判断力、表現力等】社会との関わりから問いを見つけ、自分で課題を立て、情報を整理し、まとめ・表現すること。
- 【学びに向かう力、人間性等】互いの良さを生かしながら、よりよい社会を実現しようとする態度を養うこと。

科目 産業社会と人間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会との関係の中で今後の自分の可能性をや立場、役割を理解し、多様な生き方から自分に合ったキャリアを選択するのに必要な知識を身につける。	自分のキャリアについて情報を整理、分析して視野を広げ、多様な見方や考え方を踏まえて自ら発信できる力を養う。	自らの思考や感情を律し、自分のキャリア形成に向けた成長のために進んで学ぼうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A オリエンテーション 【知識及び技能】 自分に合ったキャリアを選択するために必要な基本事項を理解し、活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 キャリア選択に関する基本事項の学習活動を振り返り、今後のキャリア活動に向けての課題を考え、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 周囲と円滑なコミュニケーションを取り、自ら物事を積極的に進めていこうとする態度を養う。	◎指導事項 ・進路選択において重要な視点 ◎主な活動 ・班単位での発表活動 ・班内でのワークショップ ◎教材 ・「産業社会と人間」ノート FACE	【知識・技能】 自分に合ったキャリアを選択するために必要な基本事項を理解し、活用できる技術が身についている。 【思考・判断・表現】 キャリア選択に関する基本事項の学習活動を振り返り、今後のキャリア活動に向けての課題を考え、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 周囲と円滑なコミュニケーションを取り、自ら物事を積極的に進めていこうとしている。	○	○	○	10
	B 班別調査学習 【知識及び技能】 身の回りの解決すべき社会問題や、課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 課題を明確にしながら情報を整理、分析し、聴き手の立場に立って工夫したプレゼンテーションを行う。 【学びに向かう力、人間性等】 班での探究活動に積極的に取り組み、自ら学ぼうとする態度を養う。	◎指導事項 ・社会問題について ・プレゼンテーションの方法 ◎主な活動 ・班単位での調査、考察、発表準備 ・作成資料を利用したプレゼンテーション ◎教材 ・「産業社会と人間」ノート FACE	【知識・技能】 身の回りの解決すべき社会問題や、課題について理解している。 【思考・判断・表現】 課題を明確にしながら情報を整理、分析し、聴き手の立場に立って工夫したプレゼンテーションをしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 班での探究活動に積極的に取り組み、自ら学ぼうとしている。	○	○	○	12
	C 自己理解 【知識及び技能】 自分の可能性を知り、自分の将来や役割について肯定的な理解を深め、キャリア形成に活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の可能性についての情報を整理して、今後の成長に向けて必要なことを分析、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の特性から、多様なキャリアプランから自分に合った進路を選ぼうとする態度を養う。	◎指導事項 ・自分の特性を知ること ◎主な活動 ・レディネステストを活用した自己分析 ・診断結果をもとにした振り返り活動 ◎教材 ・「産業社会と人間」ノート FACE ・職業レディネステスト	【知識・技能】 自分の可能性を知り、自分の将来や役割について肯定的な理解を深め、キャリア形成に活用している。 【思考・判断・表現】 自分の可能性についての情報を整理して、今後の成長に向けて必要なことを分析、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の特性から、多様なキャリアプランから自分に合った進路を選ぼうとしている。	○	○	○	6

後期	D 科目選択 【知識及び技能】 系列の目標を理解し、自分の科目選択に向けて活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 系列に関する学問的背景や人間観、価値観の一端に触れ、自分のキャリアプランを見つめなおし表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 系列、科目選択に向けて主体的に情報を集め、自分のキャリアプランを考えようとする態度を養う。	◎指導事項 ・系列、科目選択に必要なことを学ぶ ◎主な活動 ・各系列からの説明会 ・科目選択相談会 ◎教材 ・「産業社会と人間」ノート FACE	【知識及び技能】 系列の目標を理解し、自分の科目選択に向けて活用している。 【思考力、判断力、表現力等】 系列に関する学問的背景や人間観、価値観の一端に触れ、自分のキャリアプランを見つめなおし表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 系列、科目選択に向けて主体的に情報を集め、自分のキャリアプランを考えようとしている。	○	○	○	12
	E 職業理解 【知識及び技能】 多くの職業が存在し、仕事に対する思いや考えも多様なことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 将来、自分がどのように社会に貢献するか、働くことの意義について考え、表現して共有する。 【学びに向かう力、人間性等】 働くことの意義について自ら考え、体験で感じ取ったことを意欲的に自己の価値観形成に生かそうとする態度を養う。	◎指導事項 ・職業理解、働くことの意義を学ぶ ◎主な活動 ・職業講演会 ・職場訪問 ◎教材 ・「産業社会と人間」ノート FACE	【知識及び技能】 多くの職業が存在し、仕事に対する思いや考えも多様なことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 将来、自分がどのように社会に貢献するか、働くことの意義について考え、表現して共有している。 【学びに向かう力、人間性等】 働くことの意義について自ら考え、体験で感じ取ったことを意欲的に自己の価値観形成に生かそうとしている。	○	○	○	12
	F ライフプラン 【知識及び技能】 自分の特性や価値観を知るとともに、生き方のモデルとなる人物の生き方から自分のすべきことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 今後の世の中の変化に合わせ自分の社会との関わり方を考え、整理し、表現して共有する。 【学びに向かう力、人間性等】 自らのライフプランを意欲的に考えるとともに、他者のライフプラン多様な生き方を理解し受容する態度を養う。	◎指導事項 ・自分の将来を考える ・今後の社会変化に合わせた社会との関わり方 ◎主な活動 ・生き方モデルを探す ・ライフプランの作成 ・ライフプラン発表会 ◎教材 ・「産業社会と人間」ノート FACE	【知識及び技能】 自分の特性や価値観を知るとともに、生き方のモデルとなる人物の生き方から自分のすべきことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 今後の世の中の変化に合わせ自分の社会との関わり方を考え、整理し、表現して共有している。 【学びに向かう力、人間性等】 自らのライフプランを意欲的に考えるとともに、他者のライフプラン多様な生き方を理解し受容しようとする。	○	○	○	18
							合計
							70

高等学校 令和6年度（1年次用）教科 総合的な探究の時間

教科：総合的な探究 科目：人間と社会 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

使用教科書：（人間と社会）

教科 総合的な探究 の目標：

- 【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識・技能を身につける。	社会的現実にはらし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会の関わりから課題を見出し、情報を集め、整理分析して、多面的多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いの良さを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
前期	探究活動の進め方について、課題研究の準備や研究、仮説検証の基本的な見方考え方について知る。 (知識・技能)	◎ 指導項目 ・研究活動の進め方 ・仮説検証の考え方 ◎ 使用教材 ・探究Logbook ・タブレット端末	(知)図書や新聞記事の活用方法を理解し、研究に活用できるように参考にした文献の記録を残した。 (思)テーマに関連した図書や記事の必要な部分を研究に活用できるように要約した。 (学)主体的に図書や記事を探して読み、探究ログブックの課題に取り組んだ。	○	○	○	2
	書籍・新聞・論文などの文献について、その検索方法を学び、情報の取り扱い方やまとめ方、情報集約の方法を身につける。 (知識・技能)	◎ 指導項目 ・リーディングビュッフェ ・新聞記事・論文の検索 ◎ 使用教材 ・探究Logbook ・タブレット端末	(知)課題やキーワードに合わせた書籍、新聞などを検索・入手し、それらの情報を読みとり、必要な内容を要約した。	○			2
	リサーチクエストおよび仮説の検証方法について、基本的な考え方について理解している。 (知識・技能)	◎ 指導項目 ・仮説検証の基本 ◎ 使用教材 ・探究Logbook ・タブレット端末	(知)仮説を検証する研究活動の進め方、手順について理解した。	○			2
	班ごとの課題について、話し合って方針を決め、①情報を収集し、②集めた情報の分類・分析を試みる。 (学びに向かう力)	◎ 指導項目 ・情報の収集と分析 ◎ 使用教材 ・探究Logbook ・タブレット端末	(学)班で話し合った方針を共有し、情報を収集し協力して分析した。			○	2
	情報を収集する体験学習で、③気づいたことを班ごとにクラスで発表し、互いに記録する。 (学びに向かう力)	◎ 指導項目 ・情報の収集と分析 ・気づきの共有と発表 ◎ 使用教材 ・探究Logbook ・タブレット端末	(学)班で協力して分析して気づいたことをわかりやすく、伝えようとした。			○	2
	マンドラート等の手法を活用し、研究テーマの関連や広がり把握する。 (思考力・判断力等)	◎ 指導項目 ・発想法 ・研究テーマ探し ◎ 使用教材 ・探究Logbook	(思)研究テーマを探すために視野や発想を広げる手法を用いて、関連や手がかりを得た。		○		2
後期	各自が考えた研究テーマの候補をチェック項目を相互に確認しながら、研究方法や検証方法についてグループワークを通じて検討する。 (思考力・判断力等)	◎ 指導項目 ・研究計画 ◎ 使用教材 ・探究Logbook ・タブレット端末	(思)研究テーマや題材を見つけ、仮説を立てて検証方法を考え、研究計画書を作成した。		○		6
	地域スポーツイベントのボランティア・スタッフとして参加し、地域のニーズやスタッフの心得を体験を通じて学び理解する。 (学びに向かう力)	◎ 指導項目 ・ボランティア体験 ◎ 使用教材 ・「人間と社会」改訂版教科書	(学)ボランティア体験を通じて、地域のニーズやイベント参加者との接し方について、気づきを得て、生徒間で共有した。			○	2
	「産業社会と人間」での学習を踏まえ、職業講演会とあわせて、労働や職業について、現場視察を通じて、職業観・勤労観について体験手に学ぶ。 (思考力・判断力等)	◎ 指導項目 ・職業理解とキャリア形成 ・職場訪問 ◎ 使用教材 ・「人間と社会」改訂版教科書 ・産業社会と人間「FACE」	(思)職場訪問の体験を通じて、職業理解を深め、自分の考えやライフプランをよりよくしようとした。		○		4
	相関の基本と散布図の作成方法を理解して、相関係数を求めることができる。 (知識・技能)	◎ 指導項目 ・相関係数の求め方 ・エクセルの活用 ◎ 使用教材 ・探究Logbook ・タブレット端末	(知)散布図を作図することができる。エクセルを活用して、相関係数を求めることができた。	○			1
	消防署や消防団、防災課と連携し、防災や応急救護の基礎知識を体験活動や訓練を通じて、協働して学び、理解する。 (知識・技能、学びに向かう力)	◎ 指導項目 ・防災訓練と防災学習 ◎ 使用教材 ・「人間と社会」改訂版教科書	(知)防災や応急救護の基礎知識を習得した。	○			4

国際的に活躍する方を招いて、講演会を開き、質疑応答を中心に国際貢献や国際ボランティアについての理解を深める。 (知識・技能)	◎ 指導項目 ・国際ボランティア ◎ 使用教材 ・「人間と社会」改訂版教科書	(知)講演を聴いて、ボランティア活動の基礎知識や心得を理解した。	○			2
障害者についての理解を深めるために、ボランティアセンターと連携して、身体の不自由やサポートのための基礎スキルについて体験を通じて学ぶ。 (知識・技能)	◎ 指導項目 ・地域ボランティア ◎ 使用教材 ・「人間と社会」改訂版教科書	(知)障害者をサポートするための基礎スキルを習得し、気づきを得た。	○			4
						35